

The background of the entire page is a vibrant red with a digital, data-centric aesthetic. It features a perspective view of a grid of glowing points, with some points appearing as bright white or yellow streaks, suggesting data flow or network activity. The overall effect is one of high-tech and modern infrastructure.

ZABBIX

ENTERPRISE-CLASS MONITORING SOLUTION FOR EVERYONE

ALL-IN-ONE

OPEN-SOURCE

DISTRIBUTED MONITORING

2025 AUTUMN / WINTER



Zabbix 社 (P2)



Zabbix パートナー (P13)



導入事例 (P25)



Enterpriseサポート&
サブスクリプション (P7)



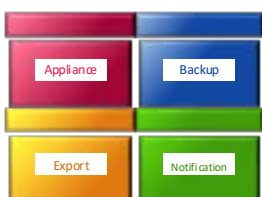
Zabbixパートナーソリューション
(P17)



Zabbixソフトウェア (P2)



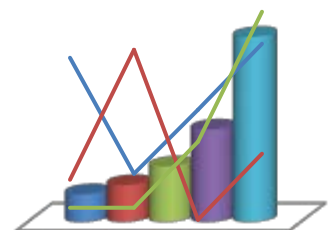
Zabbixトレーニング (P8)



Zabbixソリューション (P15)



開発サービス (P11)



コンサルティングサービス (P12)

Zabbix社について

Zabbix社はラトビアのリガに本社を置くソフトウェア開発企業です。日本国内ではZabbix Japanがパートナー支援と各種Zabbixサービスを行っています。

Zabbix社の主力製品は、オープンソースで配布されるエンタープライズ監視ソリューションのZabbixです。Zabbix社はZabbixの技術サポート、コンサルティング、導入、カスタム開発などのサービス、およびプロフェッショナルトレーニングを提供しています。

お客様のニーズに対する柔軟なアプローチと、高品質なサービスを安価に提供することに重点を置いています。世界中でZabbix関連製品のサービスを提供する100社以上の企業と共に幅広いパートナーシップネットワークを持っています。

商号	Zabbix LLC
本社	リガ、ラトビア共和国
設立	2005年4月
代表者	Alexei Vladishev
事業内容	コンピュータソフトウェア開発およびサポート、コンサルティング、トレーニング

商号	Zabbix Japan LLC
本社	東京
設立	2012年10月
代表者	寺島 広大
事業内容	サポート、コンサルティング、トレーニング

20 YEARS OF EXPERIENCE



Zabbixソフトウェア

ZABBIX

The Enterprise-class Monitoring Solution for Everyone

Zabbixはネットワークに接続されたサーバー、ネットワーク機器、Webページ、アプリケーションなどの可用性やパフォーマンスをリアルタイムに監視するソフトウェアです。ITインフラストラクチャ全体の健全性を定期的にチェックし、リアルタイムな管理者への障害通知とWebインターフェースからの状況把握を可能にします。

Zabbixを使用することでダウンタイムによるコストを削減し、システム拡張の最適な購入意思決定を行うための信頼性の高いデータを得ることが可能です。

Zabbixソフトウェアの詳細は <https://www.zabbix.com/jp/product> をご覧ください。

ソフトウェア概要

Zabbixは下記の特徴を持ったエンタープライズ対応のオープンソース監視ソリューションです。

- All in oneソリューション
- サーバー、ネットワーク、アプリケーション、クラウドリソースのパフォーマンスや可用性監視が可能
- 小規模の監視から大規模の分散監視まで対応
- 幅広いアーキテクチャに対応
- 障害発生時のメール通知、コマンド実行が可能
- 収集データのグラフ表示、ネットワークマップの表示が可能
- Zabbixプロキシを利用した分散監視オプション

Zabbixは世界で最も人気のあるオープンソース監視ソリューションの1つであり、無料でご利用いただけます。Zabbixバージョン7.0以降はAGPLv3(GNU Affero General Public License version 3)、バージョン6.4までの全てのZabbixバージョンはGPLv2(GNU General Public License version 2)でリリースしています。Zabbixはその高い拡張性、信頼性とパフォーマンスの高さ、使用方法の容易さ、極めて低い維持費から既に数多くの企業に採用され、使用されています。また、あらゆるものの監視が可能で、中小規模から大規模まであらゆる環境での使用に適しています。

Zabbixを利用するメリット

マルチプラットフォーム対応とさまざまな監視機能

- どのような環境にも対応可能
- 多様な監視機能とカスタマイズ性の高さ
- モジュール性と柔軟性



真のオープンソースソフトウェア

- ベンダー依存がない
- 商用・非商用にかかわらずライセンス費用なしに全ての機能を利用可能
- 世界各国に活発なコミュニティと数万～数十万の利用ユーザー



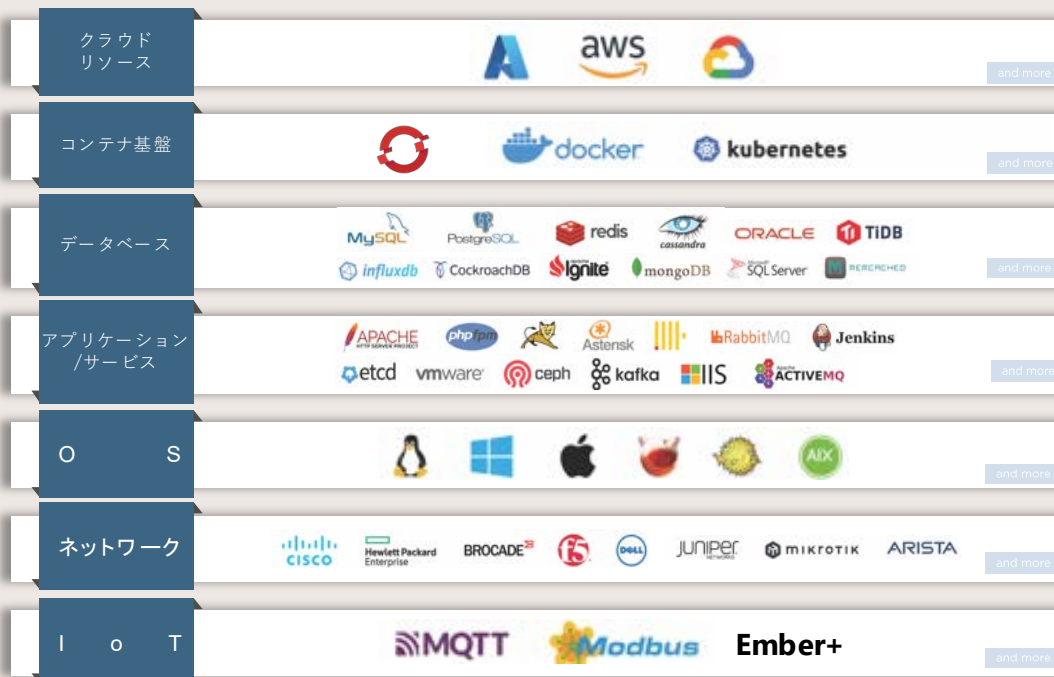
エンタープライズ環境の実績

- 多数のエンタープライズ環境での稼働実績
- 1分間に3,000,000チェック以上の監視が可能
- 数万デバイスの監視を行えるスケーラビリティ
- 安心の商用サポートや各種サービスの提供

主要機能

データ収集

Zabbixは高パフォーマンスなデータ収集機能を有しており、大規模環境にも対応が可能です。Zabbixネイティブエージェント、SNMPv1、SNMPv2、SNMPv3、IPMI、WMI、JMX、Trapper、SSH、Telnet、Webチェックなどさまざまな方法を利用してデータを収集します。

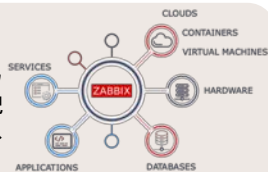


Zabbixエージェント監視機能

CPU	ロードアベレージ	サービス	プロセス監視	GPU (Zabbix agent2)	GPU使用率
	CPU使用率		Windowsサービス		メモリ使用率
メモリ	メモリ使用率		TCPポート接続状況		温度
	スワップ/ページファイル使用率		TCPポート応答時間		電力使用量
ネットワーク	ネットワーク送受信バイト数		DNS監視		ファン速度
	ネットワークエラー／ドロップパケット数		NTP監視		パフォーマンス状態
ディスク	ファイルシステム使用率	ログ	Text ログ		SM周波数
	ディスクI/O		イベントログ		PCIe使用率
ファイル	ファイル監視	その他	パフォーマンスカウンタ (Windowsのみ)		エンコーダ/デコーダーの使用率
					メモリECCエラー

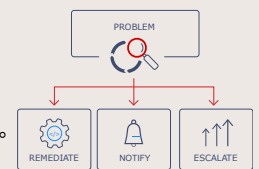
データ蓄積

収集したデータを長期蓄積し、グラフ表示機能を活用してリソース使用状況の傾向分析や、過去の障害解析、カスタムレポート作成に活用可能です。



アラート送信

収集したデータをしきい値と比較し、メールで障害通知が可能です。対応状況に応じたエスカレーション機能やコマンド実行機能も有しています。



可視化

Webインターフェースによるグラフィカル表示が可能です。

- ダッシュボード機能
- リアルタイムグラフ機能
- 複数データのグラフ
- 複数グラフの表示
- ネットワークマップ



将来予測

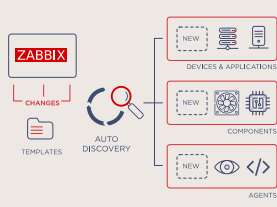
過去のデータから将来の予測をし、グラフや通知機能によって、重要な問題を予防することが可能です。

- 障害の時点のデータを予測検知
- しきい値に達するまでの期間を予測



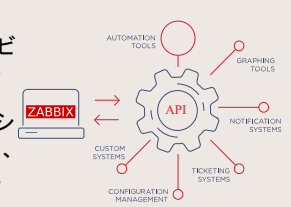
オートディスカバリ

ネットワークディスカバリ、ローレベルディスカバリ、監視対象の自動登録、という3つのオートディスカバリ機能により、システムに追加/削除されたファイルシステム、ネットワークインタフェースなどの監視対象機器や監視項目を自動的に追加/削除することが可能です。



API

Zabbix APIを利用することにより、Zabbixの監視設定の自動化や独自のビューワの作成、収集済み監視データを利用したレポート作成の自動化などを行うことができ、Zabbix監視システムをより活用できるだけでなく、これまで手作業で行っていた設定追加更新作業を自動化し運用コストの削減が可能となります。

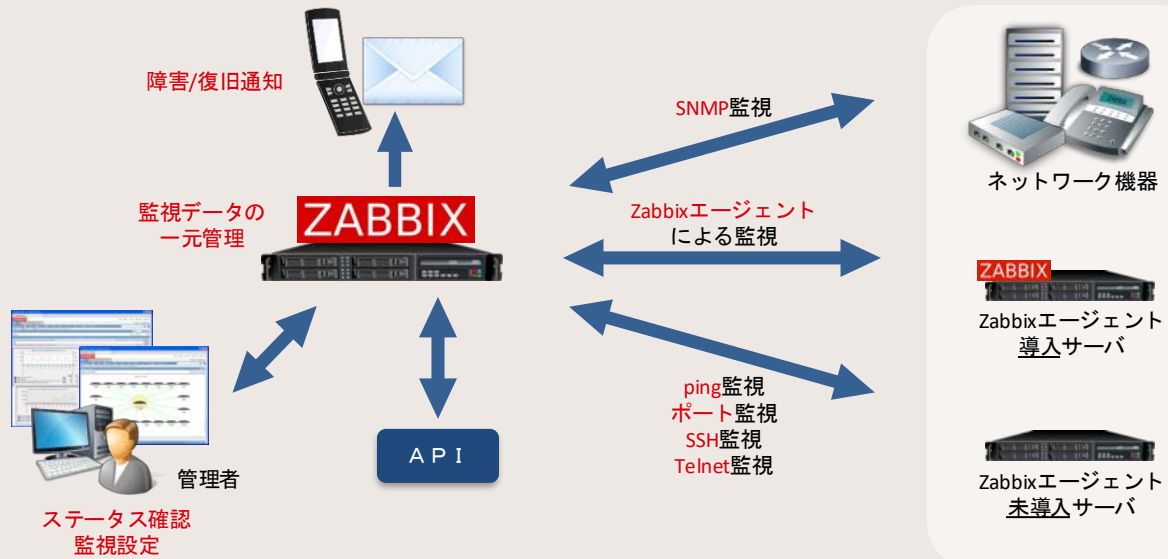


Zabbixの機能詳細は <https://www.zabbix.com/jp/features> をご覧ください。

アーキテクチャ

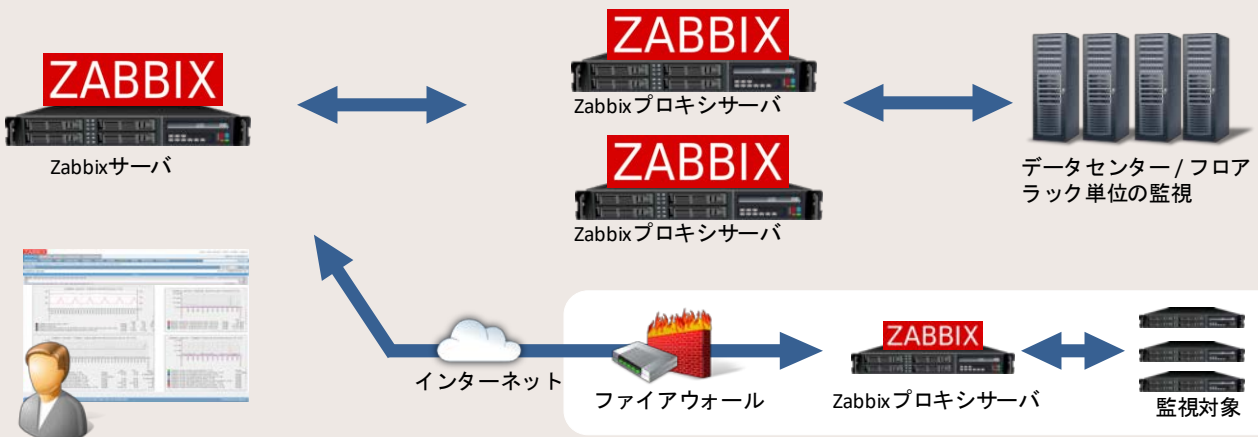
Zabbixサーバー

Zabbixサーバーはネットワーク越しにステータス情報を収集、保存蓄積する監視マネージャです。全ての監視設定、収集データはZabbixサーバーに保存され、Webインターフェースから監視設定と収集データを一元管理することができます。



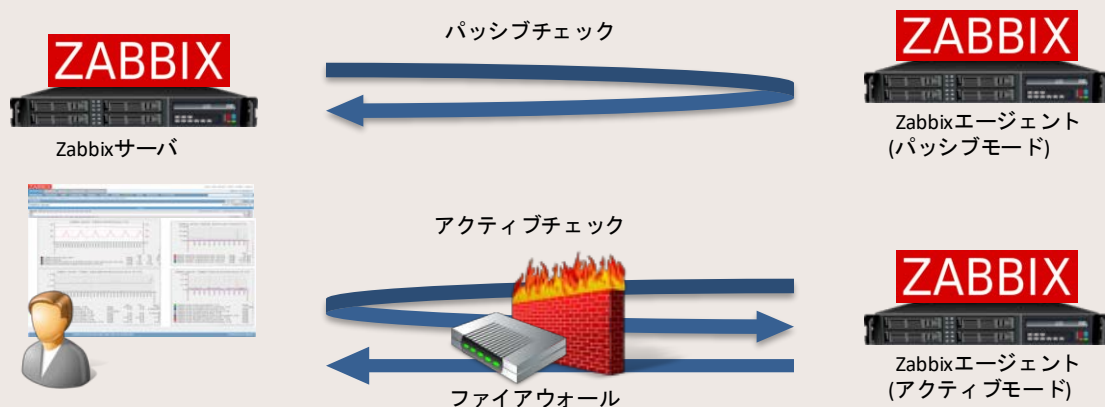
Zabbixプロキシ

Zabbixプロキシを使用することで、大規模環境の分散監視やファイアーウォール越しの監視対象の監視が可能です。インターネット越しに複数拠点の監視を一元的に行うことも可能です。



Zabbixエージェント

ZabbixエージェントにはZabbixサーバからのリクエストを受けてレスポンスを返すパッシブモードと、定期的にZabbixエージェントからデータを送信するアクティブモードがあります。ルーターやファイアーウォール越しの監視も可能です。Zabbixエージェントは非常に軽量で、ほぼ全てのアーキテクチャに対応しています。



Zabbixのアドバンテージ

Technical Benefits

- ・ インストールが簡単なオールインワンソリューション
- ・ 大規模や変わりやすい環境へ展開の早さ
- ・ 無制限に行えるデータ収集
- ・ 優れたデータ管理
- ・ 優れたしきい値管理
- ・ 優れた通知・アクション方法
- ・ 優れたパフォーマンス
- ・ ペンダロックインの回避
- ・ 将来の拡張にも安心なプラットフォーム
- ・ リリースごとに最先端機能を追加

Business Benefits

- ・ ダウンタイムの最小化
- ・ コストの削減IT環境のよりよい管理実現
- ・ さまざまなニーズを満たす柔軟なソリューションの選択
- ・ リアルタイムの統計や履歴データへのアクセスが可能
- ・ 既存インフラストラクチャとのシームレスな統合
- ・ さまざまなサポートオプションが選択可能
- ・ 的確なIT投資判断が可能
- ・ 的確なスキルと知識の提供
- ・ ソフトウェアの将来性

インストール要件

ハードウェア

下記の表は、Linux/BSD/Unixプラットフォームにおける、サイズ別のハードウェア構成例を示しています。Zabbixのインストールはそれぞれ異なります。Zabbixを本番環境にデプロイする前に要件を完全に理解するために、必ずステージング環境または開発環境でZabbixシステムのパフォーマンスをテストしてください。

インストールサイズ	メトリック数※1	CPU/vCPU コア数	メモリ (GB)	データ ベース	Amazon EC2※2
スモール	1,000	2	8	MySQL Server, Percona Server, MariaDB Server, PostgreSQL	m6i.large/m6g.large
ミディアム	10,000	4	16	MySQL Server, Percona Server, MariaDB Server, PostgreSQL	m6i.xlarge/m6g.xlarge
ラージ	100,000	16	64	MySQL Server, Percona Server, MariaDB Server, PostgreSQL, Oracle	m6i.4xlarge/m6g.4xlarge
ベリーラージ	1,000,000	32	96	MySQL Server, Percona Server, MariaDB Server, PostgreSQL, Oracle	m6i.8xlarge/m6g.8xlarge

- ※1 1メトリック=1アイテム+1トリガー+1グラフ。
- ※2 Amazonの汎用EC2インスタンスでARM64またはx86_64アーキテクチャを使用した例です。本番環境にインストールする前に、Zabbixのインストール評価およびテスト中に、Compute/Memory/Storage最適化などの適切なインスタンスタイプを選択する必要があります。
- 注1 実際の構成は、アクティブなアイテムの数と更新頻度に大きく依存します（詳細はZabbix Webサイト、Requirementsページ（英文）のデータベースサイズのセクションを参照ください）。大規模なインストールでは、データベースを別のサーバーで実行することを強くお勧めします。
- 注2 ZS-5000シリーズおよびZS-7000シリーズアプライアンスはサードパーティー製品のチューニングを適切に行っている為、監視対象数が異なります。詳しくはP14を参照してください。

ソフトウェアの動作要件

Zabbixソフトウェアは次のプラットフォーム上で稼働します。

プラットフォーム	Zabbixサーバ	Zabbixプロキシ	Zabbixエージェント	Zabbixエージェント2
Linux	○	○	○	○
IBM AIX	○	○	○	
FreeBSD	○	○	○	
Net BSD	○	○	○	
Open BSD	○	○	○	
HP-UX	○	○	○	
Mac OS X	○	○	○	
Solaris	○	○	○	
Windows※			○	○

- ※ ZabbixエージェントはWindows XP以降のデスクトップおよびサーバーでサポート。
- ※ Zabbixエージェント2はWindows 10以降のデスクトップおよびWindows server 2016以降のサーバーでサポート。

ライセンス

ZabbixソフトウェアはAGPLV3(Zabbix 7.0以降)またはGPLv2(Zabbix 6.4まで)のもとリリースを行っています。商用・非商用、教育用に関わらず、無償でダウンロード、インストール、ご利用いただくことが可能です。AGPLV3またはGPLv2のもとソースコードを公開することを条件に、プログラムのソースコードの改変、再配布を行うことが可能です。AGPL3, GPLv2に関する一般的な質問への回答等は、フリーソフトウェア財団のFAQ(<http://www.fsf.org/licenses/gpl-faq.html>)をご参照ください。

Zabbixの商標を利用して導入支援、サポートなどのサービス提供を行う場合はパートナーシッププログラムへの参加が必要です。

ダウンロード

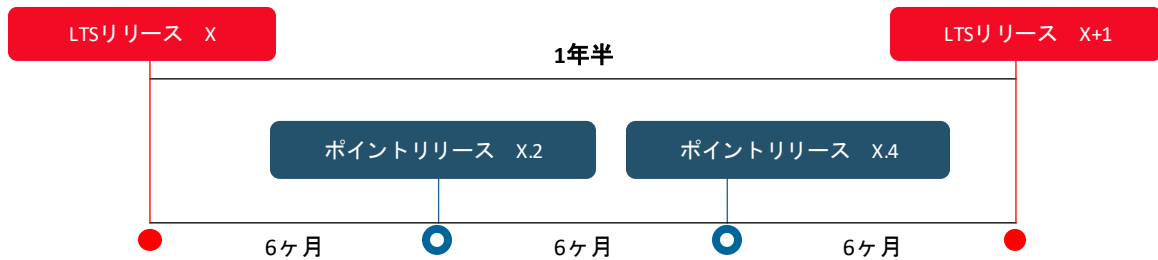
Zabbixソフトウェアは下記サイトから、ソースコードまたは、パッケージとしてダウンロードが可能です。
<https://www.zabbix.com/jp/download>

ドキュメント

Zabbixマニュアルは下記のZabbix社Webページに掲載されています。
<https://www.zabbix.com/jp/manuals>

リリースサイクル

1年半ごとにLTS(長期サポート: Long Term Support)をリリースし、ポイントリリースとして6ヶ月ごとに安定版をリリースします。



サポート期間

各サポート期間では、以下を提供することにより、お客様環境の安定運用を支援します。

フルサポート

下記を提供することによりお客様環境のZabbixの安定運用を支援します。

- ・インストール方法、使用方法、設定方法に関するお問い合わせの回答
- ・原因の調査/分析
- ・全てのレベルのバグフィックス
- ・機能改善要望への対応

リミテッドサポート

下記を提供することによりお客様環境のZabbixの安定運用を支援します。

- ・インストール方法、使用方法、設定方法に関するお問い合わせの回答
- ・原因の調査/分析
- ・深刻度の高いバグの修正
- ・セキュリティフィックス

延長サポート

LTSのサポート期間(5年間)を超えてサポートが必要な場合に下記を提供するサポートです。事前に必ずご相談ください。

- ・インストール方法、使用方法、設定方法に関するお問い合わせに対する回答
- ・原因の調査/分析

Zabbixのリリースとライフサイクル

Zabbix LTSリリース

Zabbix LTSはZabbix Enterpriseサポートをご契約のお客様向けに標準で5年間サポートされます（3年間のフルサポートと2年間のリミテッドサポート）。Zabbix LTSリリースは、バージョン番号の最初の数字が変わります。(3.0、4.0...)



Zabbix ポイントリリース

ZabbixポイントリリースはZabbix Enterpriseサポートをご契約のお客様向けに6ヶ月間または次期メジャーバージョンリリースまでのフルサポートと6ヶ月間のリミテッドサポートが提供されます。Zabbixポイントリリースは、バージョン番号の小数第一位の数字が変わります。(3.2、3.4...)



サポート期間

バージョン	リリース日	フルサポート終了	リミテッドサポート終了	延長サポート
Zabbix 7.0 LTS	2024/6/4	2027/6	2029/6	応相談
Zabbix 6.0 LTS	2022/2/15	2025/2	2027/2	応相談

Zabbixのライフサイクルとリリースポリシーの詳細は https://www.zabbix.com/jp/life_cycle_and_release_policy をご覧ください。

Enterpriseサポート&サブスクリプション

Enterpriseサポート&サブスクリプションはZabbixのソースコードを詳細まで熟知しているエンジニアにZabbixに関する技術的お問い合わせをいただき、問題解決のお手伝いをするサービスです。
専用のサポートシステム、メールまたは電話にてお問い合わせが可能です。ご選択いただいたサポートレベルにより、Zabbix関連ツール、Zabbixプラグインやナレッジベースを提供、ZabbixプロキシのサポートやZabbixを含む監視サーバーのパフォーマンスに関する問題をお受けすることも可能です。

コスト削減

Zabbix EnterpriseサポートはZabbixサーバー、Zabbixプロキシサーバー単位のサポートです。監視対象デバイスの数に依存しないため、監視対象が増えた場合でも価格が変動することがなく、コストを削減することができ、将来のコストの見積もりも簡単です。

サポートサービス利用のメリット

Zabbix Enterpriseサポート&サブスクリプションをご購入いただくと、Zabbixを熟知した専門のエンジニアが直接、Zabbixの操作や利用に関するご質問にご回答します。また、シルバー以上のサポートレベルにはZabbixソフトウェアのバグ報告や改善要望も含まれているため、Zabbixを利用するにあたり発生する課題をトータルでサポートし、Zabbixをより安定した状態で運用することが可能です。

オフィシャルサポートサービスのメリット

報告いただいたバグ報告や改善要望をZabbix社の開発エンジニアに送付することにより、優先的なバグ修正とZabbixソフトウェアへの取り込みを行います。独自修正による追加コストやベンダー依存を避けることができ、より長く安心してZabbixをご利用いただくことが可能となります。また、Zabbixソフトウェアの改善にもつながり、Zabbixの長期的な発展にもつながります。

サポートレベル

Zabbixの利用状況やニーズに合わせて、4レベルの年間サポートを提供しています。1年間のインシデント数、緊急対応のレベル、Zabbixプロキシサーバーの有無などにより適切なものを選択ください。

プラットフォーム	ベーシック	シルバー	ゴールド	プラチナ
Zabbixサーバー	1台	1台	1台	1台
Zabbixエージェント・監視対象数	無制限	無制限	無制限	無制限
Zabbixプロキシ※1)※2)	✓	✓	✓	✓
技術問い合わせ				
年間インシデント数		8	無制限	無制限
問い合わせ担当者数		1名	2名	3名
サポート対応時間		平日営業時間内	平日営業時間内	24時間365日※3)
インストール、操作設定方法の問い合わせ		✓	✓	✓
問題の調査と解析		✓	✓	✓
バグの優先的な対応とソースコード修正		✓	✓	✓
トレーニング				
入門トレーニングの無料参加	1名/年	1名/年	2名/年	3名/年
ショートトレーニングの無料参加			✓	✓
Zabbix Enterpriseカスタマーポータル				
サイトへのアクセス権限	1名	1名	2名	3名
ナレッジベースへのアクセス	✓	✓	✓	✓
各種OS用パッケージのダウンロード	✓	✓	✓	✓
Zabbix設定バックアップツールのダウンロード	✓	✓	✓	✓
Zabbix Enterpriseユーティリティのダウンロード	✓	✓	✓	✓
Zabbix関連ツールのダウンロード	✓	✓	✓	✓
アプライアンス				
仮想アプライアンスの利用権※4)	1台	1台	1台	1台
アプライアンスファームウェア(OS, Zabbix)のダウンロード	✓	✓	✓	✓
ハードウェアセンドバック保守※5)	✓	✓	✓	✓

上記は、Zabbix社に直接お問い合わせをいただく際の内容です。Zabbix認定パートナーによる一次受けサポートの場合は、内容が異なる可能性があります。また、Zabbix CloudIについての問い合わせは英語のみの対応となります。Zabbix Japanおよび日本国内の公式パートナーからのサポートにつきましては準備が整い次第ご案内いたします。

Zabbix Enterpriseサポート&サブスクリプションの詳細は<https://www.zabbix.com/jp/support> をご覧ください。

※1 接続されているZabbixプロキシ数のオプション購入が必須。ZabbixサーバーとZabbixプロキシのサポートレベルは同一であることが必須

※2 プロキシのみのサポート購入は不可(ハードウェアアプライアンスのベーシックサポートを除く)

※3 平日9:00-18:00以外の時間帯は英語の対応

※4 ご契約のZabbixサーバーが仮想アプライアンスの場合のみ。ソフトウェアを利用してインストールしているZabbixサーバー、Zabbixプロキシを台数に含め、1契約につき1つの仮想アプライアンスの利用権が付与されます。すでに稼働しているZabbixサーバーやZabbixプロキシの契約がある場合、仮想アプライアンスの利用には追加でサポート&サブスクリプション契約が必要です。

※5 ハードウェアアプライアンスのみ。平日9:00-18:00内に対応

トレーニングプログラム

Zabbix社では公式トレーニングコースを提供しています。数日でZabbixの概要や機能だけではなく、内部動作などの詳細や利用にあたっての注意点、ユースケースなどを演習を交えて理解いただけます。

トレーニングはZabbixの構築やサポート経験が豊富な講師が行います。トレーニング中の質問にも具体的な回答を得ることができ、Zabbixの内部的な仕組みや動作の詳細、実際の構築・運用で必要となるさまざまなノウハウも得ることができます。

トレーニング受講者に行ったアンケートの集計結果によると、全体の99%の方にご満足いただいたとの高い評価を頂いています。

Zabbix公式トレーニングの詳細、お申し込みは <https://www.zabbix.com/jp/training> をご覧ください。



トレーニングコース

Zabbix認定ユーザーコース

Zabbixの基本的な監視機能の概要、監視データと障害の表示、Webインターフェースの使い方を解説するトレーニングコースです。

対象者	<ul style="list-style-type: none">• Zabbixをはじめて利用する方• Zabbixの導入を検討している方• Zabbix運用担当者• 監視オペレーター
期間	1日間
受講要件	なし
修了証明書	Zabbix認定ユーザーコース修了証明書
認定書	Zabbix認定ユーザー証明書 (コース終了後に試験を実施し合格点を満たした場合に限り、認定書を授与いたします。)
価格	55,000円/人 (税込)

コースプログラム

*認定資格取得のためのトレーニングとなりますため、全日程の参加が必須となります。

- Zabbixのアーキテクチャ
- Zabbixの用語
- Webインターフェースの基本操作
- ユーザーアカウントの設定
- ホストとテンプレート、グループ
- マクロとユーザー定義マクロ
- 監視データの表示とシンプルグラフ
- カスタムグラフ
- 障害の表示と障害確認
- 障害通知とリモートコマンドの概要
- エスカレーションの動作
- 監視対象のメンテナンス
- ネットワークマップの表示と作成
- ダッシュボードの表示と作成
- レポートの表示
- 定期レポート
- 認定試験

Zabbix認定スペシャリストコース

Zabbix認定スペシャリストコースでは、4日間のトレーニングを通してZabbixの主要機能の詳細と設定を習得することができます。演習を通してZabbixの監視設定、動作の概念を短期間で習得することができ、Zabbixの構築や運用に必要なスキルを効率よく身につけることが可能です。

対象者	<ul style="list-style-type: none">• Zabbixの全機能を網羅的に学びたい方• Zabbixの構築、運用スキルを短期間で習得したい方• ネットワークやシステムの設計・運用に携わる方• 情報システムの統括に携わる方
期間	4日間
受講要件	<ul style="list-style-type: none">• オペレーティングシステムの基礎的な知識• Linuxの基本的なコマンド操作(シェル操作、エディタ操作)• Zabbix認定ユーザーコース修了相当の知識
修了証明書	Zabbix認定スペシャリストコース修了証明書
認定書	Zabbix認定スペシャリスト証明書 (トレーニングコース最終日に試験を実施し合格点を満たした場合に限り、認定書を授与いたします。)
価格	220,000円/人 (税込)

コースプログラム *認定資格取得のためのトレーニングとなりますため、全日程の参加が必須となります。

Day 1	Day 2	Day 3	Day 4
<ul style="list-style-type: none">• Zabbixの動作環境• 監視データのフロー• ホストとホストグループの設定• タグ• アイテム設定(Ping, ポート監視)• ヒストリとトレンド• 監視間隔とタイムアウト• Zabbixエージェント• 保存前処理• Zabbixエージェントのバッチチェックとアクティブチェック• ホストイベントトリの自動登録	<ul style="list-style-type: none">• トリガーの設定とイベント• テンプレートの利用• ユーザー定義マクロ• インポート/エクスポート• ローレベルディスクバリの概要• 計算アイテム• SNMP監視• SNMPトラップ監視• HTTPエージェントによるアプリケーション監視• 依存アイテムと保存前処理	<ul style="list-style-type: none">• ログファイルの監視と正規表現• Web監視の設定• データベース監視• Javaアプリケーションの監視• Zabbixプロキシ• SSH/Telnetエージェントによるエージェントレス監視• カスタム監視(ユーザーパラメータと外部チェック)• コマンドラインユーティリティとZabbixトラッパ	<ul style="list-style-type: none">• 障害通知とエスカレーション• リモートコマンド• 障害通知のスクリプト実行• 内部イベント• ユーザーとユーザーグループ• 監査ログ• 監視対象のメンテナンス• Zabbixサーバーの運用(パフォーマンス監視、プロセスとキャッシュ、キュー)• Zabbixサーバーのバックアップ• 認定試験

Zabbix認定プロフェッショナルコース

Zabbixのプロフェッショナルを目指す認定プロフェッショナルコースでは、Zabbixプロキシサーバーを使った分散監視や、Zabbixサーバーの内部的な動作、ローレベルディスクバリエーション、パフォーマンスチューニングなど高度なZabbix技術について習得することが可能です。

認定スペシャリストコースでは習得することができない、Zabbixの内部の仕組みについてより理解を深めることによって、大規模やミッションクリティカルなシステムにおいてZabbixの最適な構築、運用を行うことが可能となります。

対象者	<ul style="list-style-type: none">大規模やミッションクリティカルな環境でZabbixを利用する方Zabbixプロキシの動作について理解したい方ネットワークやシステムの設計・運用に携わる方Zabbixの内部の動作、パフォーマンスチューニングについて理解を深めたい方
期間	2日間
受講要件	<ul style="list-style-type: none">Zabbix 6.0以降の認定スペシャリストコース修了書オペレーティングシステム、システム監視の基礎的な知識Linuxの基本的なコマンド操作(シェル操作、エディタ操作)
修了証明書	Zabbix認定プロフェッショナルコース修了証明書(Zabbix 7.0 Certified Professional) *全日程の参加が必須となります。
認定書	Zabbix認定プロフェッショナル証明書(Zabbix 7.0 Certified Professional) *トレーニングコース最終日に試験を実施し合格点を満たした場合に限り、認定書を授与いたします。
価格	110,000円/人（税込）

コースプログラム *認定資格取得のためのトレーニングとなりますため、全日程の参加が必須となります。

Day 1 <ul style="list-style-type: none">Zabbixサーバー、Webインターフェース、ZabbixエージェントのインストールZabbixエージェントの高度な設定ローレベルディスクバリエーションの詳細(ディスクバリエーションルール、プロトタイプ)高度なローレベルディスクバリエーションの設定(ユーザー定義マクロのコンテキスト、オーバーライド、依存アイテム、ローレベルディスクバリエーションの拡張)ネットワークディスクバリエーションエージェントの自動登録VMwareとパブリッククラウドの監視高度な保存前処理の設定(XML XPath, JSON Path, JavaScript)	Day 2 <ul style="list-style-type: none">高度なタグの利用(タグの自動設定、イベントの自動クローズ、相関関係)Zabbixプロキシのインストールと設定通信の暗号化と認証Zabbix HAZabbixサーバーのプロセスとキャッシュZabbixサーバーのパフォーマンスとトラブルシューティングZabbix APIの概要認定試験
---	--

Zabbix認定エキスパートコース

Zabbix認定エキスパートコースではAPI、HA/DR、DBパーティショニングの専門的な技術を使ってデザイン性、高効率の維持、セットアップ搭載の知識やスキルを習得できるITプロフェッショナルを目指します。

対象者	<ul style="list-style-type: none">Zabbixの高度な機能を活用したい方Zabbixの監視機能やローレベルディスクバリエーションの独自拡張の方法を学びたい方Zabbixの内部のプロセスやキャッシュの動作についての理解を深めたい方
期間	3日間
受講要件	<ul style="list-style-type: none">Zabbix 6.0 以降のZabbix認定プロフェッショナル証明書
修了証明書	Zabbix認定エキスパートコース修了証明書
認定書	Zabbix認定エキスパート証明書 (トレーニングコース最終日に試験を実施し合格点を満たした場合に限り、認定書を授与いたします。)
価格	198,000円/人（税込）

コースプログラム *認定資格取得のためのトレーニングとなりますため、全日程の参加が必須となります。

Day 1 <ul style="list-style-type: none">導入：Zabbixのソースコード管理：ZabbixにSELinuxを作成する管理：SSLを使ってZabbixフロント-エンドを確保するデータ収集：SNMPトラップをセットアップするデータ収集：IPMIデータ収集：外部チェックとLoadableモジュールを使用してのZabbixの拡張設定：トリガーベースのイベントの相互関係設定：グローバルイベントの相互関係管理：ADとHTTP認証係質疑応答	Day 2 <ul style="list-style-type: none">ZABBIX API：概要ZABBIX API：データ取得管理：Zabbixデータベースのスキーマ概要管理：MySQLパーティショニング管理：ハイパフォーマンスストレージエンジン（Elasticsearch）管理：リアルタイムデータエクスポートデータ収集：HTTPチェック管理：ハイパフォーマンスHTTPサーバー（NGINX）質疑応答	Day 3 <ul style="list-style-type: none">データ収集：SNMPオブジェクトのLLDデータ収集：JMXオブジェクトのLLDデータ収集：LLDルールのカスタム管理：Zabbixサーバのプロセス導入：高可用性と冗長性認定試験
---	--	--

Zabbix入門コース

Zabbix入門トレーニングはZabbixを利用しはじめる方がZabbixの基本的な操作設定を学ぶことができるコースです。

このコースでは基本的なZabbixの監視設定を実機を通して学ぶことができ、コース終了時にZabbixのWebインターフェースから監視対象、監視項目、閾値設定、障害通知、グラフィカル表示設定、テンプレートの各操作と基本的な設定を行えるようになることを目標とします。

対象者	<ul style="list-style-type: none">• Zabbixをはじめて利用する方• Zabbixの導入を検討している方• Zabbix運用担当者• 監視オペレーター
期間	半日(3時間)
受講要件	なし
修了証明書	Zabbix入門コース修了証明書
価格	19,800円/人 (税込)

コースプログラム

- Zabbixの概要
- Webインターフェースの操作
- ホストとホストグループの設定
- アイテムの設定
- 監視データとグラフの表示
- トリガーの設定
- イベント
- 障害通知
- テンプレートの利用
- ホストとテンプレートのインポート/エクスポート

Zabbix APIコース

Zabbix APIトレーニングはZabbix Japanが作成したPHP用ライブラリ利用して実際にプログラミングを行いながら実際に動作するアプリケーションを作成し、APIの動作の基礎から実践的な活用までを学ぶことができるコースです。

対象者	<ul style="list-style-type: none">• Zabbix APIの利用方法を学びたい方• Zabbix APIを利用したアプリケーションを作成される方
期間	2日間
受講要件	<ul style="list-style-type: none">• Zabbix 認定スペシャリストコース修了証明書、またはZabbix認定スペシャリストコース修了相当の知識、• オペレーティングシステム、システム監視の基礎的な知識• Linuxの基本的なコマンド操作(シェル操作、エディタ操作)• PHPやスクリプト言語を利用した開発経験
修了証明書	Zabbix APIコース修了証明書
価格	110,000円/人 (税込)

コースプログラム

- Day 1
- Zabbix APIの概要
 - Zabbix APIの利用
 - curlコマンドによるAPIリクエスト
 - その他のJSON関連ツール
 - Zabbix APIメソッドとパラメータ
 - PHPを利用したAPIリクエスト
 - PHP用Zabbix APIライブラリの利用
 - ホスト設定の取得
 - イベント履歴のCSV出力ツールの概要
 - イベント情報の取得
 - トリガー設定の取得
 - ヒストリとグラフ画像の取得ツールの概要
 - アイテム設定の取得
 - ヒストリの取得
 - グラフの取得

- Day 2
- 設定の登録と更新のAPI
 - パラメータの指定方法
 - ホストの登録と設定変更
 - ホストインターフェース
 - ホストグループの取得
 - ホストの一括更新
 - テンプレートのリンク
 - テンプレートの作成
 - アイテムの登録
 - CSVファイルからアイテムの一括登録
 - トリガーの設定
 - アクションの取得
 - アクションの有効/無効化
 - メンテナンスの設定

ショートトレーニング

Enterpriseサポート&サブスクリプション(ゴールド、プラチナ)に加入いただいているお客様向けに、ショートトレーニングを無償で提供しています。

週1回程度、約1時間オンラインで開催しており、さまざまなテーマを取り上げます。開催スケジュールの確認と参加登録はZabbix Enterpriseカスタマーポータルサイト (<https://enterprise.zabbix.co.jp/events/categories/short-training>)から行えます。

- ショートトレーニングの一例
- Zabbixを利用したAWS環境の監視
 - Zabbix 7.0 LTSへのアップグレード
 - Zabbixを利用したコンテナ環境の監視
 - 監視データのエクスポート
 - JavaScript活用(スクリプトアイテムとWebhook)
 - SNMPとSNMPトラップの監視
 - ネットワークディスカバリーとエージェントの自動登録
 - グラフ、ダッシュボード、定期レポートの利用



オンサイトトレーニング

5名以上が参加し、プロジェクターを備えたトレーニング用の部屋があれば、オンサイトにてトレーニングを開催することも可能です。オンサイトトレーニングには、下記のメリットがあります。

- ・ 標準のトレーニングプログラムコンテンツを要望に応じて、お客様の環境に合わせて調整が可能
- ・ 参加者が全員同じ企業の社員のため、通常は話せないような具体的または機密なトピックについての議論が可能
- ・ 自社内で開催することにより、最適な時間を選択可能で、時間と費用を節約することが可能

開発サービス

お客様がZabbixの導入によって最大限の利益を得られるよう具体的な要件に応じて機能開発を行い、Zabbix本体に取り込むサービスです。Zabbixの機能の微調整から大規模なプロジェクトにいたるまで、お気軽にご相談ください。開発サービスの一環として、開発プロジェクトを詳しく調査した上で、仕様書を作成し、お客様の個々のニーズに最適なソリューションを決定することができます。

Zabbixの多くの機能、設定、オプションがお客様のスポンサーシップにより実施され、皆様にご利用いただけるよう公開されています。

利点

- ・ ITインフラストラクチャの監視のセットアップが自由に行える
- ・ 必要な機能が仕様書に沿って確実に提供される
- ・ 要求した機能が次期バージョン以降も確実にサポートされる
- ・ Zabbix監視ソリューションの開発に関与することができる
- ・ オープンソース活動への貢献ができる

価格

開発サービスの価格は、機能要件の複雑さ、Zabbixの既存機能との統合の複雑さなどにより異なります。また、特定機能の開発の場合は、他のユーザにも公開できるかにより価格が異なります。

Zabbix開発サービスの詳細は https://www.zabbix.com/jp/development_services をご覧ください。

開発サービス vs 社内でのソースコード改編

オープンソースソリューションに新機能を導入する必要がある場合、社内リソースで開発を行う、サードパーティーインテグレーターに開発をアウトソースする、ソースコードの開発元に機能開発の要望を出すという3つの主な選択肢があります。それぞれメリットとデメリットがあるかと思いますが、Zabbixで開発を行う場合のメリットは下記です。

- ・ ご要望の機能が最も効率的な方法で実装されます
- ・ 機能はテスト後、次期バージョン以降もサポートされます
- ・ 追加機能の保守のために追加の費用はかかりません
- ・ 1社の社内だけで使われるよりより多くの人々にとって役に立つ開発になります
- ・ Zabbixコードとともに正確に動くことが保証されています



コンサルティングサービス

コンサルティングサービスは下記のメリットを提供することで、より良くより早くIT投資の結果を得ることを支援します。

- ・ 問題に対する解決策を数日/数週間ではなく、数分/数時間で見つけることにより、コストを削減できる
- ・ すばやい対応で、プロジェクトをより早く、より安く完了できる
- ・ 早い段階から適切なアーキテクチャを選択することにより将来に備えることができる
- ・ 当て推量や一般的なミスをなくし、自信を持って実行することができる

専門分野

コンサルティングは、以下の分野でZabbixの専門知識を提供することを目的としています。

- ・ Zabbixのインストールやパフォーマンスチューニングの設計およびアーキテクチャ
- ・ Zabbixサーバのクラスタリング・高可用性・分散型でスケーラブルなソリューションの構築
- ・ Zabbixプロキシ・Zabbixサーバ・Zabbixエージェントの使用法に関する質問
- ・ あるデータベースから別のデータベースへ、古いバージョンから新しいバージョンへ、他のシステムからZabbixへの移行に関する問題
- ・ その他、Zabbixの専門知識を必要とするプロジェクト



1時間あたりの価格

コンサルティングの種類	説明	時間単価、円(税込)	最低支払額(税込)
スタンダード	本単価はインターネットを利用し遠隔で行われる、ほとんどのコンサルティング作業に適用され、遅くとも3営業日前までに、予定が確定している必要があります。スタンダード価格が適用できないご要望の場合には、事前にZabbixコンサルタントよりお知らせします。	30,800円	15分または6,600円
プレミアム	本単価は事前検証が必要な複雑な問題や質問または、コンサルタントの指名をする場合に適用されます。	46,200円	15分または9,900円

プリペイドパッケージ

プリペイドパッケージ	パッケージ価格、円(税込)	時間単価、円(税込)
10時間	300,300円	30,030円
20時間	585,200円	29,260円
40時間	1,108,800円	27,720円
80時間	2,032,800円	25,410円
10時間の追加	最初の購入と同単価	

* プリペイドパッケージの有効期間はご購入から1年間です。

オンサイトコンサルティング

訪問期間	パッケージ価格、円(税込)
1日間	223,300円
2日間	438,900円
3日間	646,800円
5日間	862,400円

* 別途渡航費用(飛行機代・電車代・バス代・ホテル代)がかかります。



コンサルティングサービスの詳細は <https://www.zabbix.com/jp/consulting> をご覧ください。

日本国内のパートナー

Zabbix社には世界中に各地域を代表する100以上のパートナーがおり、日本国内にも50社以上のパートナーがいます。

ZABBIX プレミアムパートナー PREMIUM PARTNER

Zabbix社製品・サービスの販売に加え、Zabbixの構築サービスやコンサルティングサービス、トレーニング等、Zabbix関連サービスを提供する経験豊富な企業です。



ZABBIX 認定パートナー CERTIFIED PARTNER

Zabbix社製品・サービスの販売に加え、Zabbixの構築サービスやコンサルティングサービス等、Zabbix関連サービスを提供する企業です。



ZABBIX リセラー AUTHORIZED RESELLER

Zabbix社製品・サービスの販売を行う企業です。Zabbixに関する技術提供は行ないません。



Zabbix Enterprise Appliance

ハードウェアアプライアンス

Zabbixサーバー搭載モデル

Zabbix専用機としてOSおよび各種ソフトウェアの最適化を行い、中・大規模向けの監視アプライアンスZS-7000シリーズでは、およそ1,000監視対象(※1)まで、中小規模向けの監視アプライアンスZS-5000シリーズでは、およそ200監視対象(※1)のシステムを監視可能。Linux、UNIX、Windows各種サーバー、ネットワーク機器の監視を一元的に行うことができます。

Zabbixサーバーやデータベース、SNMPトラップ、バックアップツールが同梱・セットアップ済みですぐに監視を開始できます。OSの設定や管理もWebインターフェースから行うことができ、またOSとZabbixを含むシステム全体を1つのファームウェアでWebからアップデートや以前のバージョンへ戻せるため、設置やアップデート作業なども容易に行えます。



ZS-7000シリーズ		ZS-5000シリーズ
CPU	クアッドコアAtomプロセッサ	
外部インターフェース	10/100/1000Base-T (※2) x 4、 コンソールポート(RJ45)x 1 USB3.0 (Type-A) フロントx2、USB2.0 (Type-A) リアx2、VGA x 1	
内部ストレージ	SSD 2TB x2 RAID1構成 (標準で生データ90日、グラフ1年を保存可能 ※3)	SSD 500GB x2 RAID1構成 (標準で生データ90日、グラフ1年を保存可能 ※3)
筐体サイズ	430 (W) x 310 (D) x 44 (H) mm ゴム足含まず	
動作条件	動作時	温度: 0°C ~ +40°C 湿度: 10% ~ 90%RH
	保存時	温度: -20°C ~ +70°C 湿度: 10% ~ 90%RH
電源	内蔵AC電源	
電源条件	内蔵AC電源: AC100-240V 50/60Hz 内蔵AC電源用電源ケーブル: AC100V用1本標準添付	
規格	FCC、CE、UL、RoHS指令	
推奨監視対象数	1,000監視対象まで(※1)	200監視対象まで(※1)

(※1) 100,000監視項目、5分間隔の監視の場合。1監視対象あたり100監視項目としてパフォーマンス測定(ただし、ログ、trap監視および暗号化通信を含まない)

(※2) Auto MDI/MDI-X対応。

(※3) ZabbixのWebインターフェースからアイテム単位でデータ保存期間を変更することはできません。

ハードウェアアプライアンス

Zabbixプロキシサーバー搭載モデル ZP-1000シリーズ

アプライアンスのベースとして小型、ファンレス、スピンドルレスのハードウェアを採用し、サーバールームだけでなくオフィススペースや店舗、工場など設置場所を選びません。

また、Zabbixプロキシサーバー専用機としてOSおよび各種ソフトウェアの最適化を行い、小型ながらおよそ200監視対象まで監視することができます。



CPU	ARMプロセッサ
外部インターフェース	10/100/1000Base-T x2 (ポート1はPoE受電対応) (※1) RS-232C(RJ-45) RS-485(半二重 3ピンターミナルブロック)x1 USB3.0 (Type-A) x2 Micro USB (Type-B) シリアルコンソール x1
筐体サイズ	81 (W) x 133.5 (D) x 32 (H) mm (ゴム足含まず)
動作条件	温度: -20°C ~ +55°C 湿度: 5% ~ 95%RH
電源	ACアダプタ DC12V(11.4~12.6V)または PoE受電 DC48V(36~57V)
消費電力	アイドル時 3.9W/高負荷時 5.6W (※2)
重量	約212g
推奨監視対象数	200監視対象まで(※3)

(※1) PoE規格上の受電能力は6.4W(Class2)となりますが機器性能としては7.7Wまで受電可能です。電力制限機能を有するイーサネットSW使用時、SSDなどの追加オプションで6.4Wを超えてしまう場合はイーサネットSWをマニュアル設定でClass0またはClass3に設定変更してご利用ください。

(※2) 全イーサネットポートをリンクアップし、stressコマンドによりCPU 100%の状態にして計測。

(※3) 20,000監視項目、5分間隔の監視の場合。1監視対象あたり100監視項目としてパフォーマンス測定。(ただし、ログ、trap監視および暗号化通信を含まない。)

仮想アプライアンス

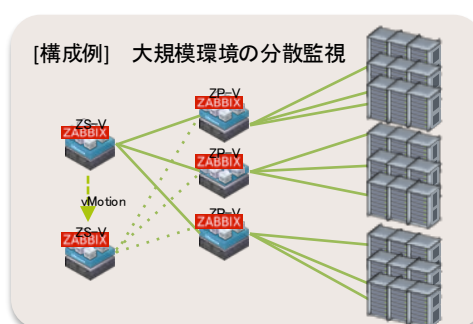
Zabbixサーバー搭載モデル ZS-Vシリーズ

Zabbixプロキシサーバー搭載モデル ZP-Vシリーズ

Zabbix Enterprise Appliance ZS-VシリーズはZabbixサーバーを、Zabbix Enterprise Appliance ZP-VシリーズはZabbixプロキシを搭載した仮想アプライアンスです。Zabbixのインストール、初期設定を行うことなく、アプライアンスイメージをインポートするだけでZabbixによる監視を始めることができます。

[特徴]

- OVAファイルを展開してすぐにZabbixを利用し始めることができます。
- MySQLのパーティショニングやSNMPトラップを受信するための設定なども実施済みの状態ですぐに監視を始めることができます。
- ハードウェア型のZabbix Enterprise Appliance ZS-7000シリーズ、ZS-5000シリーズ、ZP-1000シリーズと同等の操作性でシステムの管理を行うことができます。



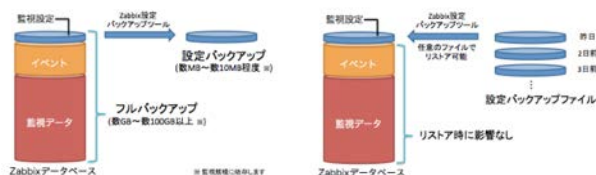
詳細 https://www.zabbix.com/jp/enterprise_appliance

Zabbixソリューション

バックアップ

Zabbix設定バックアップツール

Zabbix設定バックアップツールはZabbixのデータベースから監視設定のみを抜き出してバックアップ、リストアするためのコマンドラインツールです。データベース全体のバックアップを取得することに比べてバックアップ量が減るため、容易に設定のバックアップを取得することが可能です。



Zabbix設定バックアップツールは履歴データを除く以下の設定をバックアップ、リストアすることができます。

ホスト	スクリーン	ユーザーグループ
ホストグループ	スライドショー	認証
テンプレート	マップ	一般設定
アイテム	アクション	ノード設定
トリガー	Web監視	プロキシ設定
グラフ	ネットワークディスカバリー	メディアタイプ
ローレベルディスカバリー	ITサービス	グローバルスクリプト
メンテナンス期間	ユーザー	

コマンドラインのオプションにより、Zabbixのデータベースと同時にファイルのバックアップを取得することも可能です。

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/3661>

エクスポートツール

イベントCSVエクスポートツール

コマンドラインからZabbixデータベース内のイベント履歴をCSVファイルにエクスポートすることができます。障害履歴を定期的にファイルへ保存したり、Excelによる障害レポート作成に役立てていただくことができます。

また、標準の機能では行えないホストのIPアドレス、障害対応コメントの内容、アクションの詳細もエクスポートすることができ、出力の順序なども指定することができます。

- コマンドラインからZabbixデータベース内部に保存されているイベント情報をCSV形式でファイルに出力することができます
- ホスト、期間、件数などを指定してフィルタをかけることができます
- 出力する情報の種類、順序を指定することができます

エクスポート可能な項目

本ツールでは以下の情報をエクスポートすることができます。

イベントの時刻	イベントの継続期間
ホスト名	障害対応コメントの有無
ホストのIPアドレス	障害対応コメントの内容
トリガーの名称	アクションのステータス
イベントのステータス	アクションの内容
イベントの深刻度	

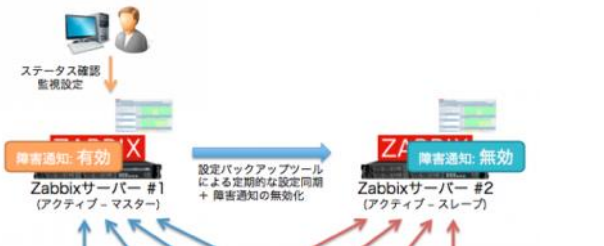
詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/3637>

冗長化

Zabbixサーバーのアクティブ-アクティブ冗長化

Zabbix設定バックアップツールをアクティブ-アクティブZabbixサーバー構成のための設定複製ツールとして利用することができます。(zabbix-backup 2.2-4以降の対応)

アクティブ-アクティブ構成では高価な共有データベースやクラスタソフトウェアなどを利用せず監視サーバーを冗長化することが可能となり、より安定した監視システムを安価に構築することが可能です。



アクティブ-アクティブ構成では監視設定の追加変更時に双方のZabbixサーバーに同様の監視設定を行う必要があります。Zabbix設定バックアップツールを利用することでマスターからスレーブへの設定同期を自動化することが可能です。監視設定はマスターのみで行い、スレーブの監視設定はZabbix設定バックアップツールを利用してマスターからスレーブへ定期的な更新を行うように構成します。Zabbix設定バックアップツールのスレーブ用オプションを利用することにより、スレーブでは不要となる障害通知を自動的に無効化することが可能です。

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/3705>

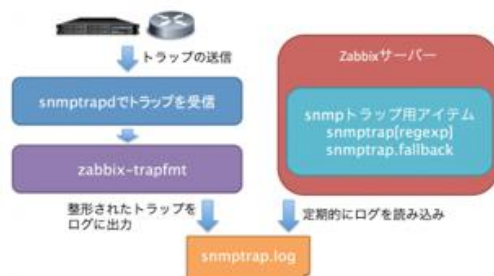
監視プラグイン

Zabbix用SNMPトラップフォーマットツール

Zabbix用SNMPトラップフォーマッタ(zabbix-trapfmt)はZabbixでSNMPトラップを監視する際にZabbixサーバー、Zabbixプロキシサーバーで処理できる形式でフォーマット変換、ログファイル出力を行うプログラムです。

[機能と特徴]

- Zabbix用SNMPトラップログへの整形機能を有しています。
- SNMPトラップごとに設定ファイルを変更する必要がありません
- Variable BindingsがHEX(16進)文字列の場合にマルチバイト文字に変換することができません
- UTF-8以外の文字コードのマルチバイト文字列をUTF-8へ変換することができます
- 受信したSNMPトラップからコミュニティ名を削除し、Zabbixの画面へ表示を行いません
- 受信したSNMPトラップのOIDからトラップ種別を簡易的に判別し出力ログへ記載する機能を搭載しています



詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/6434>

Zabbixソリューション

障害通知通知プラグイン

警子ちゃん通知プラグイン

警子ちゃん通知プラグインはZabbixから株式会社アイエスエイのDN1500シリーズ(警子ちゃんシリーズ)を利用して障害通知を行うための機能です。本プラグインを利用することでZabbixからネットワーク経由で警子ちゃんを利用してランプまたはブザーによる通知を行うことができます。



詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/3663>

パトライト通知プラグイン

パトライト通知プラグインはZabbixサーバーから株式会社パトライトのNH-FV1シリーズを利用して障害通知を行うための機能です。本プラグインを利用することでZabbixサーバーからネットワーク経由でNH-FV1シリーズを利用してランプまたはブザーによる通知を行うことができます。



詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/3792>
<https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/17010>

USBスピーカー通知プラグイン

USBスピーカー通知プラグインはZabbix Enterprise Appliance ZS-5000シリーズにUSBスピーカーやUSBサウンドデバイスを接続して障害通知を行うための機能です。



本プラグインを利用することでZabbix Enterprise Appliance ZS-5000シリーズにUSBスピーカーやUSBサウンドデバイスを接続し、障害が発生した場合にサウンドデバイスから障害通知を行うことができます。常にWebインターフェースを開いていない場合でも音による通知を行うことができます。

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/3665>

SMTP Auth対応日本語メール送信プラグイン

SNMP Auth対応日本語メール送信プログラムはZabbixの障害通知機能を拡張し、SMTP Authへの対応とISO-2022-JPエンコードのメールを送信することができる通知プラグインです。



本プラグインを利用することでZabbixから通

常どおり設定を行った場合の障害通知メールと同じタイトル、本文のメールを行うことができ、かつSNMP AuthやISO-2022-JPエンコードのメールにも対応することが可能です。

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/3667>

Zabbix API用ライブラリ

Zabbix API用PHPライブラリ

Zabbix API用PHPライブラリはZabbix APIを利用するためのPHP言語用のライブラリです。Zabbix APIを利用するにあたりHTTPでリクエストを送信するZabbixApiクラスを提供します。



ZabbixApiクラスを利用することにより、PHPからパラメータを作成しメソッド名を指定するだけでZabbix APIを利用することができます。リクエストの結果はPHPの連想配列として受け取ることができるため、Zabbix APIのリクエストに関わる低レベルな処理を開発する必要がありません。

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/4287>

Zabbix API用Pythonライブラリ

Zabbix API用PythonライブラリはZabbix APIを利用するためのPython言語用のライブラリです。Zabbix APIを利用するにあたりHTTPでリクエストを送信するapiクラスを提供します。



本ライブラリを利用することにより、Pythonからパラメータを作成しメソッド名を指定するだけでZabbix APIを利用することができます。リクエストの結果はPythonの連想配列として受け取ることができるため、Zabbix APIのリクエストに関わる低レベルな処理を開発する必要がありません。

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/4633>

テンプレート

Advanced Trap for Zabbix



Advanced Trap for Zabbixは、ZabbixでのSNMPTrapの監視運用を効率化するためのソリューションです。

本ソリューションをご利用いただくことでSNMPTrap監視の除外設定を行うことができます。Advanced Trap for Zabbixで使用するAdvanced Trap Receiverの画面はZabbixのスクリーンおよびホストスクリーンとして用意していますので、Zabbixの画面のみで運用することができます。

提供企業：Zero Networks株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/6606>

レポート作成

Report Manager for Zabbix



Zabbixにて収集したデータを利用して簡単にレポートを作成できるレポート作成ツールです。
目的に応じて一覧レポート、トップNレポート、データ比較レポートの3種類のレポートを作成することができます。

Webインターフェースからレポートの作成、表示、PDFまたはCSV形式での出力を行うことができ、簡単にレポートを作成することができます。

提供企業：株式会社情報工房

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/5102>

クラウド監視

クラウド監視プラグイン

クラウド監視をZabbixに集約し、Zabbixの分析機能により、統合的に状況分析できます。



- ・より多くのAWSサービスを監視したい
- ・Zabbixサーバーに負荷をかけたくない

- 取得方式：Push型（コンテナがデータを取得・送信）
- 対応サービス：18サービス + 課金情報 + AWS Health + AutoScaling + SNS通知
- 特徴：高度な監視、負荷分散、イベント連携

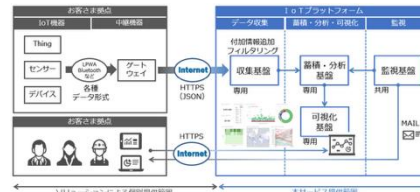
提供企業：株式会社ヴィンクス

詳細 <http://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/8748>

IoTプラットフォームサービス

IoTプラットフォームサービス

IoT機器のデータをリアルタイムに収集・蓄積・監視・分析・可視化し、新たな付加価値を創出するサービスです。



<特徴>

- ・複数データの分析結果をリアルタイムに監視
- ・新規導入のセンサーだけでなく既存センサーにも対応
- ・既に収集・蓄積されたデータの活用が可能
- ・クラウド型、オンプレ型で提供可能
- ・様々なフォーマットのデータを収集可能
- ・可視化された画面はWebブラウザで閲覧可能

提供企業：Qsol株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/14184>

Zabbixパートナーソリューション

ジョブ管理

A-AUTO



「A-AUTO」は、35年以上に渡ってジョブ管理ツールとしてユーザ様の基幹業務を支えて続けてきました。運用管理業務を自動化、安定化するだけでなく、柔軟かつ容易に運用管理を実行するために多数の機能を擁しています。最新バージョンでは、ジョブ管理とサーバ監視による統合的な



運用管理を「Zabbix」のバンドルにより実現しています。

また、Zabbix社が提供する公式サポートを含む包括的なサービスにより、販売だけでなく、採用後の安定運用を保証します。

提供企業：株式会社ユニリタ

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/5291>

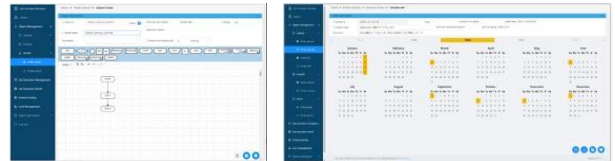
ジョブ管理

Job Arranger for Zabbix



Job Arranger for Zabbixは商用製品に引けを取らない機能、性能および操作性を持つジョブ管理ソフトウェアです。Zabbixに簡単にAdd-Onでき、ユーザ・ホスト情報等をそのまま利用できます。

Job Arranger for Zabbixの導入によってジョブ管理機能を追加したフルオープンソースの統合運用環境が実現されます。日本語マニュアル等のドキュメントが充実しており、エンタープライズ向けサポートサービスもご提供しています。



提供企業：株式会社大和総研

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/4555>

ジョブ管理

LoadStar Scheduler

使いやすく、わかりやすい「ちょうどいい」がコンセプトのジョブ管理ツール。大規模システムへ対応し、Zabbixと連携することで運用コストの大幅削減を実現します。



■使いやすい、わかりやすい

シンプルかつ直感的なGUIで操作しやすく、カラフルなアイコン、進捗インジケータ表示によりジョブの状態を瞬時に把握

■全てのサーバーに導入可能な価格帯

エージェントの導入・運用コストが低く、全てのサーバーに導入して、自動化を推進

■他社製品からの移行がしやすい

管理体系が同じなので、移行がしやすい

■クラウド対応

クラウドに対応した各種機能を実装（2026年前半にリリース予定）

提供企業：株式会社ヴィンクス

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/8753>

ジョブ管理

監視ポータルBEYMZ/MP



- ◆【特徴その1】システム全体の概況を把握
専門知識がなくても、どのシステムで障害が発生しているのかが一目で確認できます。
- ◆【特徴その2】直観的インターフェイス
操作に不慣れでも、知りたい情報を簡単に入手できます。
- ◆【特徴その3】検索機能を強化
複数の項目で検索ができるため、障害の絞り込みが素早くできます。



提供企業：Qsol株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/10610>

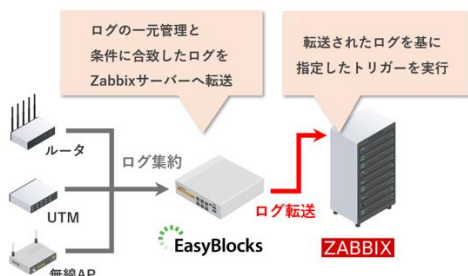
ログ監視

EasyBlocks Syslogアプライアンス



EasyBlocks Syslogアプライアンスはログ管理に特化したアプライアンス製品で、サーバーやネットワーク機器のログの統合管理を行えるだけでなく、Zabbixサーバーへのログ転送機能も標準搭載。Zabbix

エージェントの導入が困難なUTMやルータなどのログ監視も手間をかけずに導入できます。



提供企業：ぷらっとホーム株式会社

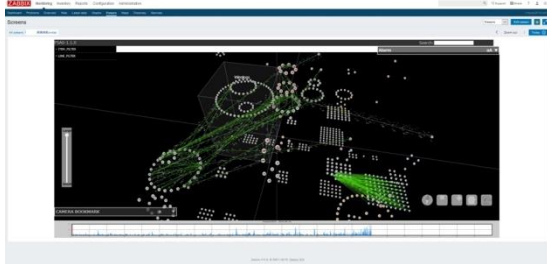
詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/18802>

Zabbixパートナーソリューション

ビューア

トポロジー図自動描画機能「T-View」 ZABICOM

システム全体を俯瞰した稼働状況の可視化を実現可能



- ・3次元ネットワークトポロジー図を**自動生成**
- ・機器増減に**自動追従**
- ・システム全体稼働状況をスッキリ**見える化**

本プロダクトは、NTTコムウェア株式会社が開発した4DVIZ®を連携した技術を採用しております。

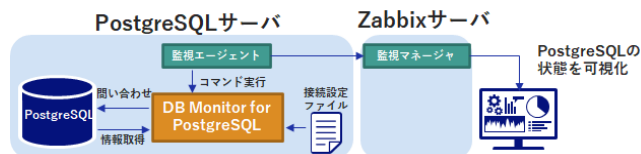
提供企業：NTTドコモビジネスエンジニアリング株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/12379>

データベース監視

DB Monitor for PostgreSQL

DB Monitor for PostgreSQLはZabbix等のシステム監視製品と連携し、PostgreSQLの状態を監視する製品です。オブジェクト単位等の細やかな監視機能により、性能問題の予防や迅速な原因特定を可能にします。また簡単な設定で監視を開始でき、UIもZabbixのまま変わらないため、利用者の負担も抑えて手軽に導入することが可能です。



提供企業：日本電気株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/17344>

運用監視サービス

システム監視サービス with Zabbix

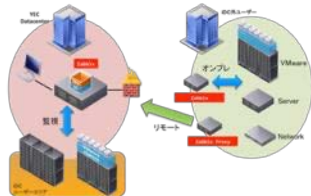
お客様の環境、業務に即した監視サービスをご提供します。

●Zabbixの環境構築

お客様の監視環境をZabbixにて構築致します。
死活監視、リソース監視からお客様の環境、業務に合せ、弊社iDCからのリモート監視や、オンプレ環境でのご提供等、柔軟な監視環境をご提供致します。

●監視サービス

アラートに対する障害一次切り分けにも24時間365日の対応が可能です。



提供企業：株式会社ワイイーシーソリューションズ

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/8200>

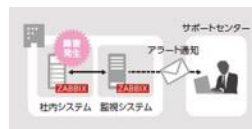
運用監視サービス

システム監視サービス

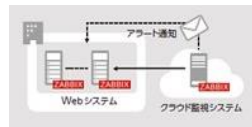
お客様のシステム管理に関わる手間や負担を減らし、監視業務を効率化するための3つのサービスをご用意。

・監視代行サービス

・監視システム構築サービス



・クラウド監視サービス



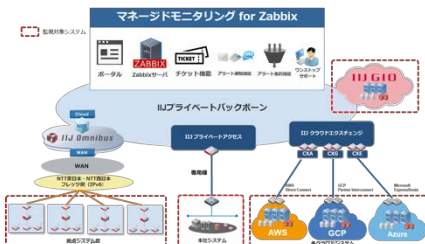
提供企業：パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/5305>

運用監視サービス

マネージドモニタリング for Zabbix

IJのクラウド上にお客様専有サーバを構築し、チューニング済みの最適化したZabbixサーバをマネージドサービスとして提供します。



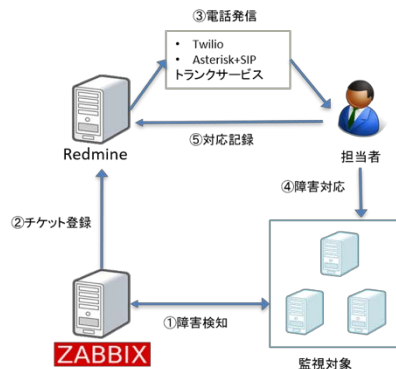
監視設定のチューニングや運用保守、技術サポート（Zabbix Enterpriseサポート ゴールド相当）まで一括で提供するため、お客様はアセットレスで手軽に導入できます。また、課金体系は監視ポイント数にかかわらず月額固定のため、大規模なシステムをお持ちのお客様でも安心して導入いただけます。

提供企業：株式会社インターネットイニシアティブ

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/14170>

運用監視サービス

自動電話通知機能付インシデント管理システム



- ・Zabbixにて検知した障害をRedmineに登録
- ・Redmineに登録された障害を電話で通知

提供企業：株式会社東日本計算センター

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/14611>

Zabbixパートナーソリューション

運用監視サービス

III 統合運用管理サービス for Zabbix

Zabbixアラートの削減・チケット起票・自動電話をSaaS型で提供するサービスです。

■必要なアラートを自動抽出

Zabbixからのアラートを独自のアラートフィルターにより大幅に削減



■「見える化」されたチケット管理

自動登録されたチケットにより、インシデント対応の見える化が可能



■アラートにすぐ気づけるから安心

時間帯や連絡先などを考慮した自動電話により迅速にアラートを把握

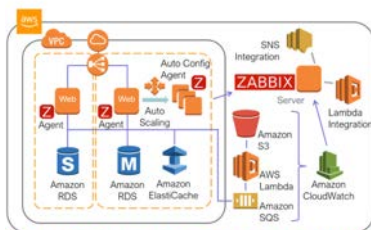


提供企業：株式会社インターネットイニシアティブ
詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/5785>

運用監視サービス

AWS特化障害監視サービス

【24/365の有人運用】



AWSマネージドサービスを統合監視

スタイルズでは、自社管理のZabbixサーバーにAWSクラウドに特化した障害監視テンプレートをご用意して、お客様に障害監視のマネージドサービスをご提供しています。AWS Lambda、Amazon RDS、Auto ScalingなどAWSならではの監視項目も、すぐにZabbixを活用した障害監視をはじめることが可能です。

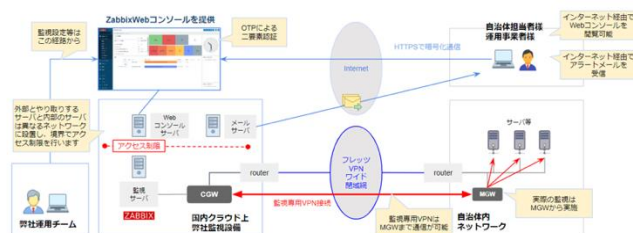
オプションで24時間365日の有人監視にも対応しております。

提供企業：株式会社スタイルズ
詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/9883>

運用監視サービス

自治体向け監視サービスソリューション

自治体向け監視サービスソリューションは、インターネットを経由せずクラウド型監視サービスと接続可能な閉域網接続サービスを提供します。監視基盤にはZabbixを採用し柔軟で高度な監視サービスをセキュアな接続環境で提供いたします。



提供企業：フューチャーセキュアウェイブ株式会社
詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/18700>

運用監視サービス

システナのシステム監視自動化サービス

「システナのシステム監視自動化サービス」は、お客様の環境内で監視を実施するオンプレ監視や、弊社のオペレータを利用して監視を実施するリモート監視、他にもクラウドの環境を利用して監視を実施するというような、現状お客様の構成やご要望に沿った形で、監視サービスがご利用できるように、ご提案、構築、運用を提供するサービスです。

◆システナのリモート監視 構成例



※左側構成例：お客様環境内でZabbixマネージャサーバを構築
※右側構成例：お客様環境内でZabbixプロキシサーバを構築

提供企業：株式会社システナ
詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/7520>

Zabbixパートナーソリューション

運用通知サービス

WebSAM Automatic Message Call

WebSAM Automatic Message Call (AMC) は、各種システムからのアラートメールを・__フィルタリングし、障害の重要情報だけを電話またはメールで確実に担当者へお知らせするサービスです。「担当者に電話がつかない!」「夜間の電話はかけにくい・・・」など、通報運用によくある課題を解決します。

ZabbixからAMC宛てのメールアドレスへアラートメールを送付するだけで、自動で電話通報します。



提供企業：日本電気株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/14928>

障害通知

特定メールの受信を電話で通知



「急コール」は、特定メールの受信を自動で電話通知するクラウドサービスです



夜間、休日でも重要なトリガーアラートを確実に知らせるため

- ☑ 緊急時の初動対応を早めます!
- ☑ 対応者・管理者の負担を減らします!

提供企業：株式会社ワイドテック

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/18827>

運用最適化ソリューション

運用最適化ソリューション



当社はZabbixを活用した監視サービスプロバイダーです。監視環境のコンサルティングから構築、24/365の運用まで包括的なサービスを提供しており

Zabbixのバージョンアップやリプレースのサービスにより高度な監視環境を構築したうえで、さらに当社で運用を代行することも可能です。お客様のビジネスを守るため、信頼性の高い運用監視ソリューションをご提供します。

提供企業：NSW株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/17978>

運用自動化サービス

運用自動化プラットフォーム

「運用自動化プラットフォーム」はZabbix・Ansible・Rundeckを組み合わせた監視と運用自動化をサービス型で提供するシステム運用のためのプラットフォームサービスです。サービス型で提供しますので小規模な環境から大規模な環境まで導入することが可能です。



提供企業：フューチャーセキュアウェイ株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/14207>

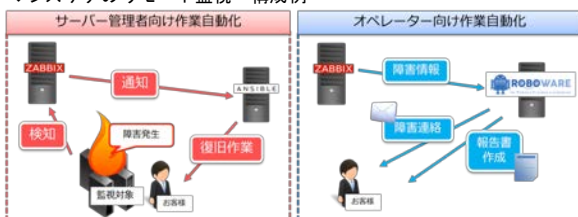
運用自動化

システムの運用自動化ソリューション「AMAOS」

「AMAOS (Auto Monitoring and Auto Operating Systems)」は、ZabbixとOSSの自動化プラットフォームのAnsible、システム自動化フレームワークソフトウェアROBOWARE※を組み合わせた運用作業を自動化するソリューションです。

※ROBOWAREは株式会社イーセクター (ESECTOR, LTD.) の商品です。

◆システムのリモート監視 構成例



提供企業：株式会社システナ

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/8735>

運用自動化

POLESTAR Automation



- 自動化ジョブの作成が簡単 (点検、スクリプト実行、ファイル導入、差分チェック等の目的別ジョブをウィザードを利用して簡単に作成可能)
- Zabbix 連携が簡単
- 1,000 種類超の無償サンプルジョブですぐに自動化

#	ジョブ作成ウィザード	機能
1	点検ジョブ	点検ポリシーをセットして点検作業のスケジュール化
2	監査ジョブ	マスタ (又はスナップショット) との差分検出のスケジュール化と時系列での変更内容の表示
3	スクリプトジョブ	スクリプト実行のスケジュール化
4	ファイル配布ジョブ	ソフトウェア配布および導入のスケジュール化
5	ファイル収集ジョブ	ファイルを収集し、特定フォルダに集約する作業のスケジュール化
6	Windows Update ジョブ	Windows サーバーに対するアップデート適用タイミングのスケジュール化とパッチ種類による自動適用制御
7	パッチジョブ	複数のジョブ実行をスケジュール化
8	ネットワークスクリプトジョブ	ネットワークスクリプト実行のスケジュール化
9	データ比較ジョブ	テキストデータ/出力データの比較、差分検出スケジュール化

提供企業：株式会社ワイドテック

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/13478>

Zabbixパートナーソリューション

統合監視サービス

TPE統合監視運用サービス

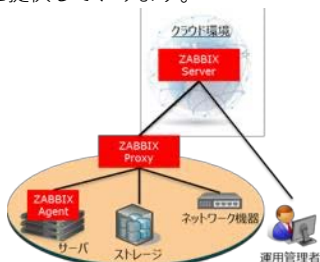
Zabbixに関する監視運用、新規導入から保守サポートまで、お客様のニーズに合わせたサービスをご提供しております。また、監視運用業務の代行もご提供しております。

【基本サービス】

- Zabbixサーバ構築
- Zabbixプロキシ構築
- Zabbixエージェント構築

【オプションサービス】

- コンサルティングサービス
- 監視設計サービス
- 操作マニュアル作成
- 技術トレーニングサービス
- Zabbix Enterpriseサポートサービス



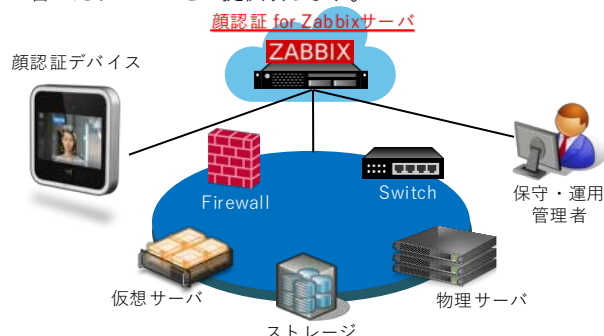
提供企業：株式会社テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/12407>

統合監視サービス

顔認証デバイス連携ソリューション

顔認証デバイスおよび、Zabbixに関する新規導入から保守サポート、監視運用業務代行まで、お客様のニーズに合わせたサービスをご提供致します。



提供企業：株式会社テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/13494>

監視ソリューション

システム監視ソリューション 「ThemiStruct-MONITOR」



ThemiStruct-MONITOR（テミストラクト-モニター）は、障害検知から復旧までを見据えたトータルなシステム監視ソリューションです。様々なシステムの稼働状況を収集し、障害検知や通知、可視化することが可能な統合監視ソフトウェアであるZabbixにオーグス総研のノウハウをプラスすることで、お客様のシステムに最適な監視をご提供します。



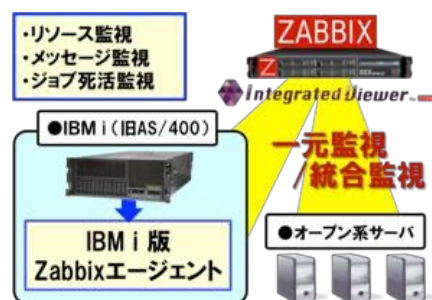
提供企業：株式会社オーグス総研

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/5470>

監視ソリューション

IBM i版 Zabbixエージェント

IBM i（IBAS/400）の監視をZabbixへ集約します。



※本製品は当社のIBMメッセージ監視製品「Hybrid MESSAGE」と「Zabbix連携オプション」から構成されます。

提供企業：株式会社ヴィンクス

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/9987>

集中監視/統合監視

次世代集中監視システム VI-Manager



複数Zabbixサーバを集中監視



特徴1

複数Zabbixのイベントを1画面で監視

特徴2

Zabbix以外の監視ツールにも対応

特徴3

監視対象の階層構造を自由に定義

特徴4

カメラ・センサー等のAI・IoTデバイスに対応

提供企業：株式会社ヴィンクス

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/12331>

Zabbixパートナーソリューション

構築/サポートパッケージ

BEYMZ/OS

システム監視導入サービス



★このような課題はありませんか？

- ☐ 導入方法がわからない
- ☐ 障害箇所をすばやく特定したい
- ☐ 初期費用を抑えて始めたい

当社の豊富な導入実績から得たノウハウを活かして、Zabbixアプライアンスに監視機能を初期設定し、初年度サポートとセットでご提供します。
システム監視導入サービスでは、「ライトプラン」、「スタンダードプラン」を用意しております。

提供企業：Qsol株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/18680>

構築/サポートパッケージ

ZABICOMソリューション

ZABICOM

NTTドコモビジネスエンジニアリング株式会社が提供する総合監視運用OSSシステム

導入検討フェーズ	ご提案	お客様への最適な導入プランをご提案致します。
	導入コンサル	新規、移行、コスト削減等、お客様が抱えている内容について、Zabbix導入から運用設計までコンサルティングを致します。
設計構築フェーズ	監視システム設計構築	お客様のご希望により最適な監視サーバ構成の選定、調達、構築支援を致します。監視サーバクラスタ構成(Act-Act/Act-Standby)、プロキシ構成、クラウド構成などさまざまな環境に対応致します。監視エージェントを監視対象サーバにインストール、各種設定を行います。
	監視設定	監視項目に従った監視設定作成支援を致します。
	カスタマイズ	お客様のご要望に応じたカスタマイズをすることも可能です。
移行フェーズ	移行	Zabbixに関わる様々なお問い合わせに対応するお客様Zabbix保守サポート窓口を設けています。
運用フェーズ	サポート	お客様ご利用のNMS(旧Zabbixを含む)から新規構築したZabbix監視システムへの移行支援を致します。

提供企業：NTTドコモビジネスエンジニアリング株式会社

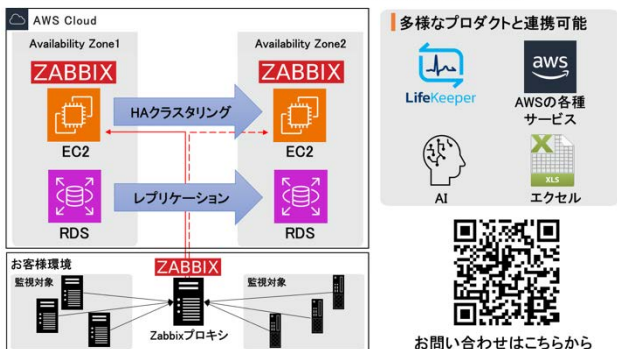
詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/11718>

構築/サポートパッケージ・運用監視サービス

SCSK Plus サポート for Zabbix



- ・さまざまなお客様の環境(オンプレ・AWS)に合わせ、Zabbixの導入をご支援いたします
- ・他社製品監視環境からの移行、現行Zabbix環境のバージョンアップも承ります
- ・AWSサービスや多様なプロダクトと連携可能な環境構築をご支援いたします



提供企業：SCSK株式会社

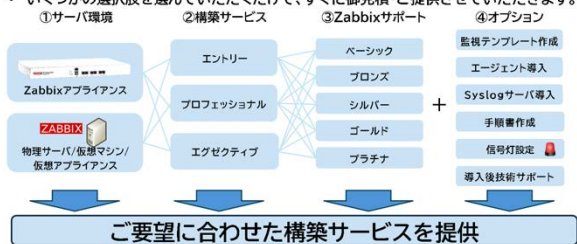
詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/9381>

構築/サポートパッケージ・運用監視サービス

Quick Start Package for Zabbix



- ・プレミアムパートナーであるSCSKのノウハウを集約し、需要の多い構築内容をパッケージ化した構築サービスです。
- ・いくつかの選択肢を選んでいただくだけで、すぐに御見積・ご提供させていただきます。



- Quick Start Package for Zabbix
- # 早期の構築
 - # SCSK独自のOSレイヤーサポート
 - # お客様環境に合わせた柔軟な構築
 - # オプションは今後も追加予定

提供企業：SCSK株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/19805>

構築パッケージ

デジタルツイン設備モニタリング



製造現場・ビル設備などでは、施設の効率的な管理と省人化対策が課題です。
遠隔から現場状態をZabbix画面上でリアルタイムにモニタリングし、IoTセンサーデータをウォークスルー・3Dモデルで連携した、設備管理に特化したソリューションです。



サーバ監視
障害情報

ステータス
アラート
表示

3Dデータ
IoTデータ
連携

稼働監視

各地点
マッピング

提供企業：NSW株式会社

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/19797>

構築/サポートパッケージ

アプライアンス構築ソリューション



Zabbix Enterprise Appliance

ハードウェア販売と構築サービス

システム監視を始めるなら、アプライアンス構築ソリューションが最適。監視規模（監視対象数）と安心の技術サポート（年間問い合わせインシデント数）で選べるプランをご用意しています。



- 監視のオールインワンパッケージ
- ヒアリングシートを記入いただき監視設定を追加した状態で出荷
- 納品当日から監視をスタート
- 技術サポートも同梱
- 入門トレーニング受講も無料

提供企業：株式会社アークシステム

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/21207>

Zabbixパートナーソリューション

構築/サポートパッケージ

まるごとおまかせZabbix

Zabbix歴20年以上の経験と実績で構築と運用をフルサポート
これまでに蓄積し続けた構築・サポートのノウハウを標準化



- 当社カスタマイズ済テンプレートで監視設定を更に使いやすく
- ヒアリングシートを記入いただき監視設定を追加した状態で出荷
- 技術サポートも購入いただく形でワンストップのご支援を実施



監視サーバー構築
オンプレミス・クラウド環境構築



Zabbixサポートサービス
公式保守を含む充実のサポート

- 監視対象数で選べるプラン
- 監視のスタートアップに最適

- 公式保守サポートを更に強化
- お客様環境特有の課題を解決

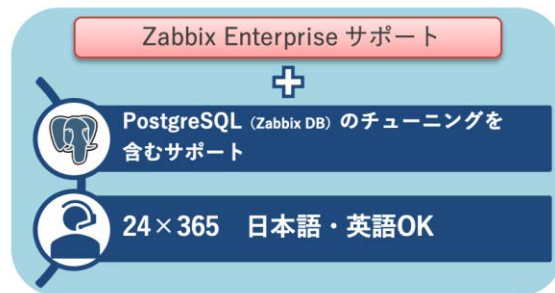
提供企業：株式会社アークシステム

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/7696>

サポート

SRA OSS Zabbixサポートサービス

Zabbix Enterpriseサポートの内容に加えて、Zabbix DB (PostgreSQL) のチューニングを含むサポートや、24時間365日の日本語・英語サポートなど、プラスアルファの安心サポートを提供いたします。



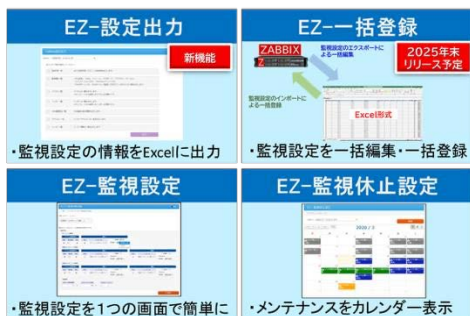
提供企業：株式会社SRA OSS

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/18845>

機能拡張・機能追加

VI-EZOperation

- ・監視の設定情報をExcelへ出力 → 設定値の確認、印刷が簡単に
- ・監視設定の一括登録 → 1件ずつの登録不要（近日リリース予定）
- ・監視の設定を簡単にするGUI → 誰でも監視設定を簡単に



提供企業：株式会社ヴィンクス

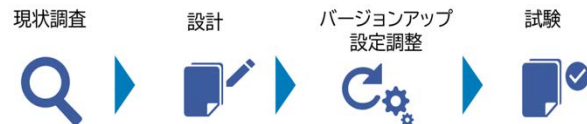
詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/13387>

バージョンアップサービス

SRA OSS Zabbix バージョンアップサービス

Zabbix の旧バージョンをお使いのお客様、最新版のバージョンで新機能をお使いになりたいお客様を対象に最新版へのバージョンアップサービスをご提供します。

■ Zabbix バージョンアップサービスの範囲



お客様の環境調査から設計、実作業、試験まで支援します。

提供企業：株式会社SRA OSS

詳細 <https://enterprise.zabbix.co.jp/solutions/14605>

通報を受けての後追いではなく先手での障害対応を実現
プロフェッショナルサービスも組み合わせ、全台監視を実現

OBJECTIVE

ユーザーからの通報ではじめて障害を把握し、後追いの対応になっていた

REQUIREMENTS

オープンソースであること
GUIがわかりやすく、機能が豊富なこと

APPROACH

監視データを蓄積し、サービス品質向上や次の設計に反映
監視ノウハウを蓄積した上で、外注も組み合わせる全台監視

OUTCOME

先手を打って障害に対応し、影響範囲を最小化
パートナーの力を生かして工数削減

東京ドーム51個分に上る広大なキャンパスを擁する金沢大学では、ユーザーからの通報ではじめて障害を把握する状況を改善し、先回りして動けるような体制を整えるためZabbixを採用した。プロフェッショナルサービスを組み合わせ、全台監視を実現している。

広大なキャンパスをカバーするネットワーク、後追いで障害対応が課題に

金沢大学では「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念の元、金沢地区6拠点、能登地区3拠点、加賀地区2拠点にまたがる東京ドーム51個分を超える広大なキャンパスで、約1万2000人の学生が学んでいる。

同大学総合技術部情報部門では、教育や研究に不可欠なキャンパスネットワーク「KAINS」やサーバなどのインフラ構築・運用管



理を担ってきた。KAINSはキャンパスの広さを反映し、約400台のネットワークスイッチや約1100台の無線LANアクセスポイントなどで構成されており、ピーク時で約2万台のデバイスがつながる規模だ。しかもBYODを許可しているため、端末の種類は多岐にわたる。

金沢大学 総合技術部 情報部門 部門長の浜貴幸氏は、「ユーザーに制限を意識させず自由に使えるけれども、実はトレーサビリティを確保し、しっかり安全が担保されているサービスを目指して運用しています。その上で、快適でいつでも使える、ちょうど空気や水と同じように使える環境を意識しています」と言う。



国立大学法人金沢大学
総合技術部 情報部門 部門長
浜 貴幸 氏

ただ、昔からそんな環境が整っていたわけではない。2000年代は、「MRTG」や「Cacti」などを用いてトラフィック量は把握していたものの障害監視までは行っておらず、利用者から「ネットワークが切れて使えません」といった連絡があってはじめて障害を把握していた。いわば人が「トラップ」の役割を果たしているような状態だった。当然、前後の状況も残っていないため原因究明にも手間取り、解決までに時間を要していた。

「学内にサービスを提供する立場としては、きちんと監視して障害を検知し、ユーザーの申告よりも前にこちらから動けるような状況を作り出すことが大事だと考えました」（浜氏）

プロプライエタリに縛られず、わかりやすいGUIを評価しZabbixを採用

こうした考えから金沢大学は、2011年のネットワーク更改に合わせて監視ソリューションを導入することに決定した。ここで採用したのがZabbixだ。

第一の理由はオープンソースであることだった。「大学の文化には、プロプライエタリに縛られず、もし問題があっても自分たちでどうにかできる良さがあるオープンソースがなじみやすいと考えました」（浜氏）

いくつかの比較記事を元に、GUIが見やすく、フィルタなどの機能も充実している点を評価し、「まずは入れてみよう」とZabbix 1.8を導入し、KAINSとSINETなどをつなぐコアスイッチをなど基幹部分の死活監視・トラフィック監視から開始した。

「最初はアイテムとトリガー、アクションといったZabbix特有の概念や関係性になじみありませんでしたが、ひとたび考え方を理解した後はわかりやすく使えるようになりました。また、導入はもちろん、アップグレードも非常に簡単にできる点に感動しました」（同技術専門職員、松能誠仁氏）

Zabbixからのアラートは、メールで通知するだけでなくTeamsとも連携している。さらに、執務室内にSNMPトラップと連携した警告灯を設置し、異常があれば部屋にいる技術職員らがすぐに気づける環境も整えた。レベルに応じて警告灯の色が変わるため、すぐ対応しなければいけない事態なのかどうかと見ただけで判断できる。

より詳細に状況を確認する必要があるれば、同じく執務室に設置した大型ディスプレイに表示しているZabbixのダッシュボードを見るだけで、「何が起きているか」を把握できるようにした。これは、限られた人的リソースの中で円滑な運用を実現し、また職員間のコミュニケーションを活性化してスキル向上につなげるといった効果も狙ったものだ。

監視拡大を全台に広げ、プロフェッショナルサービスを併用し負荷をオフロード

Zabbixの導入によって、ユーザーから連絡があってから慌てて後追いで対応する体制から、「先手」を取って障害に対応できるようになった。「仮に障害が起きて連絡をもらっても、『その件はすでに把握しており対処中です』と答えることで納得いただけ、クレームにつながりにくなりました」（浜氏）



国立大学法人金沢大学
総合技術部 情報部門
技術専門職員
松能 誠仁 氏

また長期にわたってデータを取得することで、障害原因の特定が容易になり、サービス品質の向上にもつながっている。「過去にファイアウォールのメモリリークが発生したことがありました。Zabbixでメモリの使用率を過去数ヶ月にさかのぼって確認することで、原因究明につながりました」（松能氏）

蓄積したデータは、次のネットワーク更改に向けた資料としても有効だ。リソースの利用量や変動の傾向を定量的に把握し、見える化することで、推定や思い込みに頼らない適切な設計やサイジングが可能になった。

こうして金沢大学では2016年、2021年とネットワークを更改するたびに監視範囲を拡大してきた。2021年の更改ではZabbix 7.0へと移行するとともに、KAINSのすべてのネットワーク機器に加え、DNSやメールなどの各種サービス、仮想サーバ基盤、さらに学内データセンターの電力消費量や室温にまで監視対象を広げている。

「ありとあらゆるシステムをZabbixで監視し、取れるものは全部とっておき、できるだけ長い期間保存しておこうという考えで運用しています」（浜氏）

ただ、全台の監視となると工数がかかるのも事実だ。そこであらためてプロフェッショナルサービスを導入し、ちょっとした変更や監視アイテムの追加といった作業をコラボレーションシステムおよびNTT西日本に依頼することで、負荷の少ない運用へと切り替えた。

「我々はただ『監視してくれ』と丸投げするのではなく、明確で詳細なオーダーを出したいと考えています。10年の運用を通して自分たちの監視設計やノウハウを固め、どう設定すべきかを把握できるようになったことから、外注を活用することにしました」（浜氏）

このように監視のあり方を理解した上でプロフェッショナルサービスを活用することで、手が空いた分を他のプロジェクトに回すことができている。「人数が少ないため、自分たちがやっていた作業をオフロードしながら増幅できるというのは非常に価値のあることだと思います」（浜氏）



株式会社コラボレーションシステム
取締役ゼネラルマネージャー
柿永 雅史 氏

震災後の状況把握も迅速に実現、研究を支援できるようなマネージドサービスも検討

すべての機器を漏れなく監視することで、たとえば新年度が始まり新入生がキャンパスにやってくるようになれば一気に接続デバイス数が増える、といった状況がはっきりと見えるようになった。

何より効果を感じたのが、2024年1月に発生した能登半島地震への対応だ。震災当時、浜氏は能登に帰省しており、携帯電話での通話すら困難な状況に陥ったが、メンバーにショートメッセージで「Zabbixのダッシュボードを確認してほしい」と一言伝えるだけで状況確認を済ませることができ、非常に助かったという。2件ほどアラートが出ていた機器があったが軽微なもので、短いやりとりで対応を済ませることができた。

「全デバイスをモニターして情報を集めていたため、アラートが出ていなければ正常に稼働していると判断できました。そうでなければ、各システムの担当者に逐次確認して回る必要があり、状況を把握するのにもっと時間がかかっただろうと思います」（浜氏）

ネットワークを運用している以上、障害はどうしても起こる。「『何かおかしい』という兆候をきちんと拾うには、システムのすべての状況を把握し、そのデータをどう生かしていくかを考えていく必要があります。Zabbixはそのために必要なツールだと思っています」（浜氏）

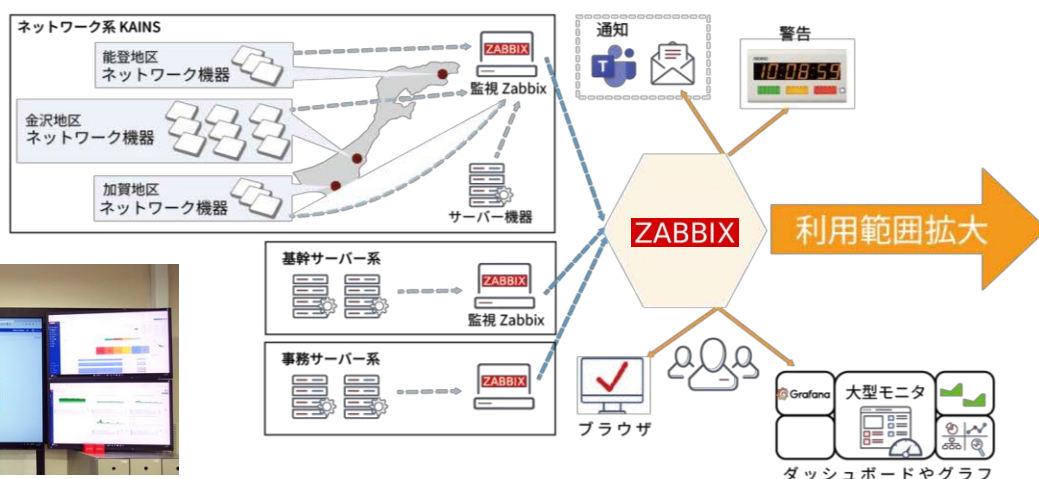
金沢大学は次期システムに向けた検討も開始しているが、その際にはZabbixで収集したデータを生かし、最適な設計を実現していく計画だ。また、Zabbix 6.0で搭載されたアノマリー検知やベースライン監視といった機能もうまく活用していきたいと考えている。「今はアラートの対処をどうすべきかを人が判断しているところがありますが、そこに統計情報などを活用し、もっとスマートな運用を実現していきたいと思います」（浜氏）

さらに、Zabbixカンファレンスで耳にしたセッションをヒントに、各研究室が運用する実験機器や設備を監視する学内向けの「マネージドZabbixサービス」も展開できないかと検討中だ。「インフラを提供するだけでなく、研究支援にコントリビュートできるのではないかと考えています」（浜氏）

システム概要

冗長化構成の有無：3（シングル構成）
監視拠点数：10拠点
監視対象数：513
トリガー数：15670
アイテム数：27282
ユーザー数：6

Zabbixがインストールされているハードウェアの情報：vSphere
Zabbixのパフォーマンスデータ（NVPS(1秒あたりの監視項目数)）：225.27



国立大学法人 金沢大学概要

設立:1862年
学部：4学域・20学類
大学院：7研究科
学生数:10,525
(2025年現在)

金沢大学は、1862（文久2）年に創設された加賀藩彦三種痘所を源流とし、旧制第四高等学校などの前身校の歴史と伝統を受け継ぐ総合大学です。豊かな伝統文化が醸成された学都金沢の恵まれた環境に位置します。160年という長い歴史の中で、わが国の高等教育と学術研究の興隆に貢献し、我が国を代表する基幹の大学へと発展してきました。現在に至るまで、教育、研究およびそれらを基にした社会貢献により地域と世界に資するべく、不断の改革を続けています（学長メッセージより抜粋）。諸先輩が築き上げてきた歴史を礎に、金沢大学憲章に掲げる「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に立脚して、金沢大学の揺るぎない未来ビジョンを『志』として、学内並びに社会に示します。

株式会社オプテージ様導入事例

増加するコストやリソースの可視化に課題を抱えていたオプテージが、これまで利用していたJP1とZabbixを連携させ双方の利点を活用することで、理想的な監視環境を実現



OBJECTIVE

監視コストの削減とエージェントの導入負荷軽減、リソース情報の可視化を目指す

REQUIREMENTS

監視項目を網羅しつつ、コストや導入負荷が削減できること

既存の通知連携処理が継続できること

APPROACH

台数に依存しない費用の仕組みを模索

ZabbixによってOSテンプレートにエージェントを組み込み、負荷を軽減

単体でカバーできない要件は、JP1とZabbixを連携させることで解決

OUTCOME

年間約1000万円以上のコスト削減が可能に

1台あたり約2時間かかっていたエージェントの導入を自動化

ブラウザでリソースグラフを提供、リソース情報の可視化を実現

関西電力グループの戦略の一環として、情報通信事業を展開する複数の企業が再編され2019年に発足したオプテージ。同社では、関西地区にて家庭向け通信サービス「eo光」を提供しているほか、法人・個人向け格安スマホサービス「mineo（マイネオ）」や、法人向けICTサービスおよびSIなど、全国にて情報通信サービスを幅広く展開している。社内ではWeb 3.0にも積極的に取り組んでおり、生成AIツールの活用も進んでいる。

増加するコストやエージェントの導入負荷、リソースの可視化が課題に

オプテージが新たな監視ソリューションを模索し始めたのは2021年のこと。それまで長年利用していたJP1の標準サポートが3年後に終了するため、リプレースを検討したことがきっかけだった。



当時特に大きな課題だったのが、コストが増加していたことだ。「事業の多様化や新サービスの提供に伴い、監視対象とするサーバーは本番環境と検証環境を合わせて約1000台に達していました。JP1エージェントのライセンスと保守契約も台数分必要で、年間1000万円以上のコストがかかっていたんです。今後も監視対象サーバーは増加する予定だったので、コストを削減する必要がありました」と、オプテージ 経営本部コーポレートITシステム部 IT基盤・技術支援チーム サブマネージャーの妙中徹平氏は語る。



株式会社オプテージ
経営本部コーポレート
ITシステム部
IT基盤・技術支援チーム
チームマネージャー
平井 啓臣

また、サーバーの新規構築時、監視エージェントの導入作業に手間と時間がかかっていたことも大きな負担となっていた。JP1エージェントは、新規監視の都度メディアからのインストールが必要だが、「社内での作業調整やバージョンごとの手順書整備が運用上の負荷となっていたほか、導入作業そのものにも2時間ほどかかっていた」と妙中氏。

さらに、サーバーリソースの確認方法がシステムごとに異なり、共通画面から確認することもできず、リソースの最適化も困難だった。そこで、「監視システム全体でリソース情報の可視化が必要だという考えに至りました」と、妙中氏は新ソリューションの検討に入った経緯を述べた。

ZabbixとJP1を連携させることで要件を完全にクリア

新ソリューションの導入にあたっては、ライセンスコストを抑制できるOSSを中心に、複数の製品を検討した。その中で最終的に選んだのが、すでに他部署でも採用実績のあるZabbixだった。

「Zabbixであれば、システムの監視やアラート通知、パフォーマンスの可視化など、すでに他部署での実績があります。OSのテンプレートにZabbixのエージェントを組み込むため、仮想サーバー構築時のインストール作業が自動化できますし、サーバーのリソース利用状況はブラウザにてグラフを提供することで可視化できます。コストに関しては、オープンソースであることや、パートナーであるアシストが監視対象台数に依存しないサポート体系となっていることから、監視コストも大幅に削減できると考えました」（妙中氏）



株式会社オプテージ
経営本部コーポレート
ITシステム部
IT基盤・技術支援チーム
サブマネージャー
妙中 徹平氏

ただし、Zabbixのみでは解決できない要件もあった。ZabbixではSNMP Trap監視を単独では実装できず、監視項目を網羅することが困難だった。また、完全にZabbixに移行するとJP1/Integrated Management 2（以下、JP1/IM2）などの既存通知連携処理を継続することができず、改修やテストが高コストになる点も問題だった。

そこで、パートナーとしてオプテージをサポートするアシストは、JP1とZabbixという2つのソリューションを組み合わせることを提案した。さまざまな製品を取り扱うベンダーフリーのアシストならではの提案だ。そのソリューションとは、死活監視やログ監視、プロセス監視、リソース監視はZabbixで監視し、SNMP Trap監視はJP1で監視、さらにZabbixで検知したイベントをJP1と連携させ、メール通知をJP1で実現するというものだ。

「JP1/IM2に関しては、他のツールとも連動していたため変更が困難だという事情もありました。このような案件は意外と多いので、連携ソリューションがマッチすると考えました」と、アシスト ビジネスインフラ技術本部 システム基盤技術統括部 技術3部 課長の園山佳織氏は説明する。

この連携ソリューションにより、エージェントのコスト削減と導入負荷の軽減、そしてリソースの可視化が可能となったほか、単独では困難だった監視項目も網羅し、既存の通知連携処理も継続することができた。こうして両製品の利点を最大限活かした監視システムが実現した。



株式会社オプテージ
経営本部コーポレートITシステム部
IT基盤・技術支援チーム
平山 勇氏

監視項目のテンプレート化やマニュアル作成で運用を効率化

Zabbix監視システムの構築やJP1からの移行はスムーズだった。死活監視やリソース監視といった標準監視項目はテンプレート化し、ホスト登録時に自動でリンクするようにした。システム固有の監視項目も検知設定などをテンプレート化、システム担当者はプロセス名などシステム固有の項目を入力するのみだ。

また、利用者向けのZabbix監視設定マニュアルも作成し、ユーザーが自らZabbixを設定できるよう、設定のオープン化にも踏み切った。Zabbixの利用経験がない担当者でも設定ができるよう、実機で検証しつつ整備したが、「ZabbixはGUIベースでの操作となるためわかりやすいですし、アシストからも機能説明やマニュアルに関するアドバイスなどさまざまなサポートを得ることができ、スムーズに検証を進めてマニュアルへと反映できました」と、オプテージ 経営本部コーポレートITシステム部 IT基盤・技術支援チームの平山勇氏は語る。このテンプレート化とマニュアル、そして設定のオープン化によって、監視設定の作業時間が大幅に短縮でき、運用の効率化を実現した。

既存サーバーへのZabbixエージェントの導入は、Ansibleで実施した。Ansibleから社内システムの監視対象サーバー約1000台に対し、Zabbixエージェントを自動で配布。エージェントの設定にもAnsibleを活用し、監視開始直前までを自動化した。このAnsibleの活用も、アシストの支援によるものだったという。

JP1からの監視移行が完了、年間約1000万円のコスト削減へ

2023年9月、オプテージはJP1単体での監視体制からZabbixとJP1を組み合わせたソリューションへの移行を完了させた。これにより、「ライセンスと保守費用だけで年間約1000万円のコスト削減効果を見込んでいます。また、サーバー1台あたり約2時間かかっていた監視エージェントの導入作業も不要になり、アプリケーション部門からの仮想サーバー払い出し要請に迅速に応えられるようになりました。さらには、監視対象となる仮想サーバーのリソース情報も一元的に可視化できるため、監視基盤の高度な運用が可能になったと考えています」と、オプテージ 経営本部コーポレートITシステム部 IT基盤・技術支援チーム チームマネージャーの平井啓氏は語る。ZabbixとJP1の連携ソリューションによって当初の課題をすべて解決し、コスト削減とエージェント導入負荷の軽減、そしてリソースの可視化をすべて実現したことになる。

今回のソリューション導入にあたっては、「知見があるアシストの協力を得られたことも大きかった」と平井氏はいう。「目の前の課題をすべて解決できたことはもちろん、OSSの製品ライフサイクルを踏まえ、今後を見据えた運用設計ができたのもアシストの知見があってこそだと思います。ベンダーフリーで良いものを紹介し、当社のことを考えた提案をしてくれるので非常にありがたいですね。アシストのサポートセンターは以前から対応の品質が非常に良いと思っていましたが、ZabbixやJP1に詳しくなくても問い合わせができ、大変助かっています」（平井氏）

今後は、Zabbixの活用範囲を拡充し、ミドルウェアのパラメータやサービス監視など、より高度な監視も検討するほか、APIを活用した監視設定のさらなる簡素化も視野に入れているという。

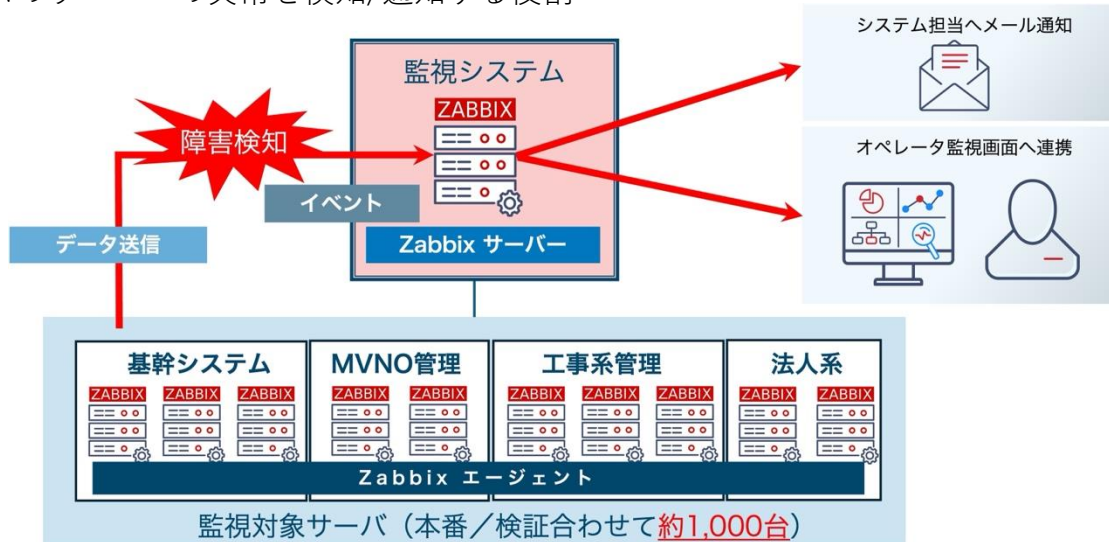
また、リソース情報の可視化が実現できるようになった今、CPUやメモリ、ディスクなどサーバーのリソースを分析し、リソースの最適化も促進していくという。「今後はAnsibleも活用したく、Zabbixの検知をトリガーとしたタスクの実行を検討する可能性もある」と妙中氏は述べ、さらに進化したシステム環境を目指す姿勢を見せた。

システム概要

Zabbixサーバーの数：2
冗長化構成の有無：無し
監視対象数：サーバ約1000台
トリガー数：24677（本番：16325、検証：8352）
アイテム数：30887（本番：20136、検証：10751）

ユーザー数：265（本番：148、検証：117）
Zabbixのパフォーマンスデータ（NVPS(1秒あたりの監視項目数)）：
本番：2354.37、検証：1039.18

社内システムのサーバーの異常を検知/通知する役割



株式会社オプテージ概要

本社：大阪市中央区城見2丁目1番5号 オプ
テージビル号
設立：昭和63年4月2日
従業員数：2,870名（2023年4月1日現在）資本金：30億円（関西電力100%出資）

オプテージは、独自の光ファイバーネットワークによる高速・高品質な情報通信サービスに加え、情報と通信が一体となったワンストップソリューションを提供しています。また、お客さまのライフスタイルに合わせて、携帯電話サービスやエネルギーサービスを提供しています。

さらに、今後加速するDXI向け、5G、AIなど最先端の技術を活用し、お客さまの未来の創造にチャレンジしてまいります。



システムごとに異なる監視アプリケーションを利用していたKDDIが、Zabbixで監視業務を標準化。サポート体制の統一と運用の効率化を実現

OBJECTIVE

監視ソリューションを自社内で運用し、監視の標準化と効率化を目指す

REQUIREMENTS

特定のベンダーや製品に依存することなく、運用・監視に必要な機能を十分に持ち合わせていること
運用・監視の改善を自社内で行うことが可能であること

APPROACH

監視の標準化に向け、監視実装ポリシーを明文化
Zabbix用テンプレートを作成し、標準テンプレートとして展開

OUTCOME

運用・監視の設定に必要な知識の共通基盤ができ、サポート体制が統一
標準化によって導入プロセスの簡素化が可能に
構築から監視体制が整備できるまでの時間が3週間から30分に短縮

独自運用できる監視ソリューションの導入に向けて

KDDIは、大手通信事業者として5Gを中心とした通信サービスを提供するとともに、顧客へのデジタルトランスフォーメーションの推進や、金融事業、エネルギー事業など、国内外で幅広く事業を展開している。

同社が監視ソリューションの導入を検討することになったのは、システムごとに異なる監視アプリケーションを利用していたことが背景にある。また、人手による運用業務となっていたことから、効率性も課題だったほか、属人化した状況も現場担当者を悩ませていた。

「設備によって監視サーバーが異なるため、担当する設備が変わる度に学習コストが発生します。また、実装コストや監視設備の開発・保守コストも削減したいと考えていました」と、KDDIエンジニアリング推進本部 クラウドエンジニアリング部 エキスパートの神谷太郎氏は語る。



改善に向けた仕組みを導入しようとしたものの、開発を委託していたベンダーが監視も担当していたため、自ら手を入れることができなかった。ベンダーの提供する監視ソリューションを自社内で運用できるよう変革するという選択肢もあったが、「ベンダーとの責任分界点が課題となりまし、システムごとに監視システムが異なる状況も解消したかったので、自社で独自に運用できる監視ソリューションを検討することとなりました」と神谷氏は述べている。

また、監視項目を設備単位で設計・構築していたことから、設備によって監視内容が異なっていたほか、監視品質にもムラがあった。

そこで神谷氏のチームは、監視の標準化に向けて動き出した。まず、監視の実装標準を統一すべく、監視実装ポリシーを作成して明文化。監視すべき項目の目的や実装例を記載することで、監視項目の最低ラインを明確にした。その内容を開発パートナーにも提供し、社内の各部門と開発パートナーで実装すべき認識を統一。こうして整備した監視実装ポリシーにより、監視の標準化に向けた準備を整えた。

ニーズに合った最適な監視ソリューションを模索

ソリューションの導入にあたっては、さまざまなツールを比較検討した。最終的にはZabbixともう1件のソリューションまで絞り込んだが、最終的にZabbixを選択したのは、「それまでもZabbixの利用経験があり、必要最低限の知識を持つ担当者が多かったことに加え、監視ソリューションとして、統計機能など運用監視に必要なものがZabbixにはほぼすべて入っていたことが大きかったですね」と神谷氏は言う。

また、「当チームではログを監視することが多く、そのニーズに合ったソリューションがZabbixでした。他のソリューションはサービスの状態を監視するものが多く、長期的なデータ保存やログ監視が得意ではないものもありましたから」と神谷氏。同氏が利用経験のあったZabbix 1.8などの古いバージョンでは、ログ監視の性能に不安もあったというが、「今回のZabbix 5.0/6.0の導入にあたっては、大きくパフォーマンスが改善されていることが確認でき、安心して使えと判断しました」としている。

さらに神谷氏は、アイテム設定やトリガー設定といった監視設定がすべてGUIにて可能で、上位通知などの細かな部分がカスタムできる点も評価している。「初めてZabbixで監視設定する担当者がいても、GUIであれば初見でもわかりやすいと感じています。それに、ポーリング時などにAPIを利用して他システムと連携できるのもありがたいですね」（神谷氏）

監視基盤の統一で3週間の作業が30分に

Zabbixの導入プロセスはスムーズだったという神谷氏だが、チューニングには多少の苦労が伴ったという。「内部でサポートを実施するため、標準化する段階で他システムでのチューニング事例などを元に、基本的なチューニングができるようにしました。特に現在利用しているMariaDBは、大規模になると適切に機能しない部分もあったため、そのチューニングには少し苦勞しました」と神谷氏。

それでも導入の効果は大きかった。まず、運用・監視の設定に必要なとなる知識の共通基盤ができたことだ。これにより、コスト削減が実現したほか、現場担当者への教育も容易になった。「これまででは、特定の担当者でなければわからないことも多く、知っている人を探すだけでも一苦勞でした。それが今では、当チームがZabbixサポート部門のような役割を果たすようになっていきます。知らない部署からの問い合わせも来るようになったため、対応は大変ですが、サポート体制が統一できて効率性は高まりました」と神谷氏は言う。

また、ポリシーを自動適用する仕組みなども取り入れた結果、「構築からテンプレートを適用し、監視体制を整えるまで30分程度でできるようになりました。過去には3週間程度かかっていたので、大幅な時間短縮です」と神谷氏。「何百台もあるサーバーへのポリシー適用漏れも防げるため、品質向上にもつながっています。LLDの仕組みを活用すれば、コンテナの監視も自動化できますしね」と、神谷氏はその成果を説明する。

社内サポート体制に切り替えても、特に大きな問題は生じていないと神谷氏。むしろ、社内でZabbix経験のある担当者に質問できるようになったことから、以前より迅速なサポートができていているという。社内で利用しているMicrosoft Teamsには、Zabbixに関する質問ができる場も設け

た。そこでは、3営業日以内での課題解決を目指し、質問への解決方法を手順も含めて提示しているという。

監視項目の標準化で作業のばらつきも解消

導入後は監視項目の標準化も実現した。神谷氏と同じシステムアセットGでグループリーダーを務める川俣充氏も、「これまでは設備を導入する際、それぞれ独自の設計だったため、各設備が適切に監視ができていたかチェックする必要がありました。それが標準化できたことで、導入プロセスが省略できるようになっています。監視項目の確認も必要なくなり、承認の手続きも簡略化できるようになりました」と語る。

標準化にあたっては、KDDI内で定めた監視実装ポリシー内で監視項目を容易に設定できる仕組みの導入を心掛けた。また、自社内で監視実装ポリシーに準じたZabbix用の標準テンプレートを作成。マクロを変更することで、環境に応じた監視もできるようになった。「テンプレートの使いやすさもZabbixならではの感想」と、川俣氏は述べている。



今後はネットワークやモバイル系の設備にもZabbixを

こうしてサーバーの監視体制が整備できたKDDIでは、今後サーバー以外にも、ネットワークやモバイル系などさまざまな設備に対してZabbixの利用を拡大していく計画だ。ノウハウや悩みを共有することが相互解決につながり、結果として監視品質も向上すると考えているためだ。今後監視対象とするホストの台数は、サーバー系およびモバイル系の設備でそれぞれ約5000ホスト、ネットワーク系の設備で約2万ホストまで拡大する予定だという。

そのため、まずはベースライン監視の標準化を実施する予定だ。サービスの利用状態を確認するためのKPIを各設備で定義し、KPI単位での異常を判定、リアルタイムで障害を検知できるようにするという。また、機械学習をZabbixで標準化し、CPUの利用率など機器単位のリソースデータを分析、異常の有無を判定して障害を検知できるようにしていく考えだ。

「今後もより良い監視をZabbix上で実現し、設備運用のスタンダードとして改善していく予定です」と神谷氏は語った。



KDDI株式会社
エンジニアリング推進本部
クラウドエンジニアリング部
システムアセットG
グループリーダー
川俣 充氏

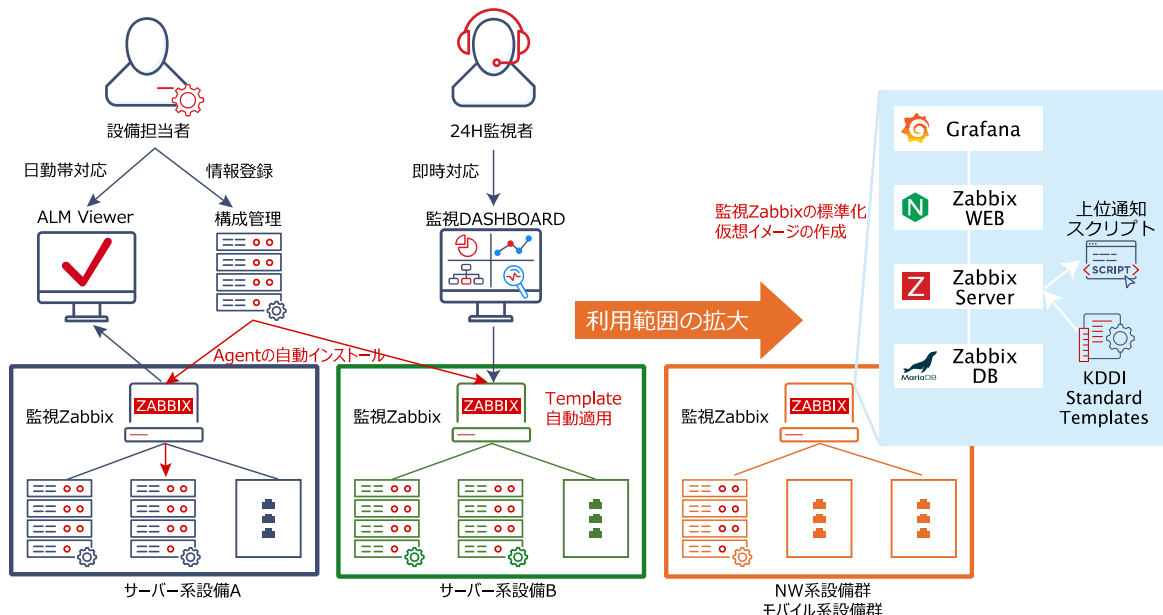


KDDI株式会社
エンジニアリング推進本部
クラウドエンジニアリング部
エキスパート
神谷 太郎 氏

システム概要

Zabbixサーバーの数：標準Zabbix 数十台(その他を含めると100以上)
Zabbix プロキシの数：標準Zabbixとしては無し
冗長化構成の有無：有り (Active-Active構成)
監視対象数：数十～1000前後(システム単位) 拠点
トリガー数：数十～1000前後(システム単位)

アイテム数：最大20,000程度
ユーザー数：3以上(システム単位)
Zabbixのパフォーマンスデータ (NVPS(1秒あたりの監視項目数))：
233NVPS(14,000/分)～300NVPS(18,000/分)



KDDI株式会社概要

本社:東京都千代田区飯田橋三丁目10番10号
設立:昭和59年6月1日
従業員数:61,037名(連結ベース(2024年3月31日現在))
資本金:141,852百万円

KDDIは移動通信・固定通信の両方を併せ持つ、総合通信事業者として時代の変革をリードする企業を目指しています。個人のお客さま向けには「au」ブランドのもと、移動体通信(au携帯電話)事業と固定通信(ブロードバンド・インターネット/電話)事業を展開し、シームレスにつながる新しい通信環境の実現に貢献しています。また、法人のお客さまには、FMCネットワークからデータセンター、アプリケーション、セキュリティ対策まで全てのICT領域でサービスを提供し、ビジネスを強力にサポートしています。

三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社様導入事例

クラウド基盤からRPA、ネットワークに至るまで幅広く活用
ベンダーロックインから脱却し、監視体制の内製化を促進

 **MUFG** 三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社

OBJECTIVE

Zabbixを使った拡張性のある監視基盤を採用し、内製化を進める。活用場面は広がり、さらに迅速さ柔軟さに応える

REQUIREMENTS

AWSのAuto Scaling機能を監視する機能

APPROACH

外部のパートナーへの発注から内製化を行うために、自社開発に耐えうる強い組織を作る

OUTCOME

監視を商用製品からZabbixに変更することでランニングコストを大きく削減

監視、統計、分析の課題解決にとどまらず、障害対応への迅速化などより付加価値が生まれた

三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）各社の金融サービスをIT面で支える三菱UFJインフォメーションテクノロジーでは、クラウド移行に伴い、拡張性を備えた監視基盤としてZabbixを採用して内製化を進めてきた。活用場面はさらにRPAやATM、ネットワーク監視へと広がっている。

自社開発に力を入れ、スピーディに新サービスを提供できる組織を目指す

「FinTech」という単語が示すとおり、今やデジタル技術と金融サービスは切っても切れない関係にある。三菱UFJインフォメーションテクノロジー（MUIT）では、三菱UFJ銀行をはじめとする三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）各社の金融サービスをITの面から支えてきた。



銀行をはじめとする金融サービスのシステムにまず求められるのは安定性やセキュリティだが、近年は迅速さや柔軟性も求められている。市場のニーズに合わせ、スマートフォンやWebサービスを組み合わせた新しい金融サービスをスピーディに提供することが戦略的に欠かせない。

こうした要望に応えるべくMUITは、システム基盤と組織の両面で少しずつ変革に取り組んできた。特に力を入れているのが「内製化」だ。「外部のパートナーに発注するばかりではどうしても小回りがきかず、コスト面でも高止まりになります。そこから脱却するため、オープンソースソフトウェア（OSS）も積極的に活用しながら、自社開発に耐えうる筋肉質な組織を目指す活動を展開しています」（三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社 業務基盤本部業務基盤第四部 シニアプロフェッショナル 勝野 基央氏）

AWSのAuto Scalingに追従して拡張可能な監視基盤としてZabbixを採用

その一環として積極的に進めてきたのが、オンプレミスからAmazon Web Services（AWS）をはじめとするクラウドへの移行だ。ビジネス側や顧客のニーズに合わせてスピーディに新しいサービスを展開する上で、拡張性に優れたクラウドの優位性は明らかだ。MUFGグループも「クラウドファースト」を旗印に、金融業界をリードする意気込みで基盤プラットフォームの移行に取り組んできた。

しかし、その監視をどう実現するかが課題となった。「AWSには、負荷に合わせてリソースを拡張できるAuto Scaling機能があります。それらを監視する機能が必要でしたが、当時利用していた監視製品では対応が難しいところがありました」（三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社 グループ共通基盤本部ITコントロールサービス部 プロフェッショナル 杉浦 和真氏）単純なインスタンスの監視だけならば、AWSが提供する監視機能や他のツールでも実現できたが、Auto Scalingなども含めたAWS固有の活用法に合致した監視となると、なかなかぴたりくるものがなかったという。

そこで、OSSも含めさまざまな選択肢を模索した中で有力な選択肢として浮上したのがZabbixだった。並行して利用している商用の監視ツールに比べ、ベンダーロックインの縛りがなく小回りが効く上に、OSSならではの強みとして、公式ドキュメントに加え、有志が発信したさまざまな情報がインターネット上で得られることも利点と判断し、採用した。

当初はパートナーの力を借りながらZabbixによる監視業務を開始したが、徐々に内製に切り替えていった。その際には豊富な情報が役に立った。「私が担当してから3年間でも、監視規模はAWSだけでなくオンプレミス環境も含め約4倍に増えています。そうするとバリエーションやInnoDBのバッファプールサイズなどをチューニングしていく必要がありますが、公式のドキュメントやZabbixユーザー会のフォーラムでさまざまな情報がすぐ入手できる環境にあったため、ベンダーに頼らず、自前で運用することができました」（杉浦氏）

一日当たり数千件から数万件ものトリガーを処理する大規模なシステムだけに、効率化にも取り組んでいる。Zabbix APIを活用してワークフローと連携させ、各担当者がフォーマットに入力した内容をワークフロー経由で反映させることで、監視設定内容の設定を自動化した。個々の担当者がZabbixのGUIに触れることはない。

この結果「監視規模は4倍、監視サーバ台数も倍に増えている状況ですが、保守要員はほとんど変わらずに運用できています」（杉浦氏）。自動化の仕組み自体は他のツールでも同様に構築しているが、Zabbix APIで既存のアイテムやトリガーとの差分を確認し、整合性を担保しながら更新できるため、より安定した稼働につながっているという。また、監視定義を対象に持たせるのではなく、マネージャー側で一括管理できるZabbixの利点も感じている。

杉浦氏は、Zabbixによる監視結果と他の監視ツールからの結果を集約し、一元的に管理しているが、そのプロセスの中でZabbixマクロを利用し、アラート検知後の操作や処理を自由度高く設定できている。「現時点ではオーソドックスな監視機能を利用していますが、マクロなどの拡張性が高いため、今後もいろいろと改善の余地があると思っています」（杉浦氏）

スモールスタートで始めたRPA監視、自動でディスカバリする機能も整備

固有のニーズに合わせながら、各業務システムやアプリケーションの「かゆいところに手の届く」運用監視を担当していた勝野氏は、別の課題に直面していた。増え続けるRPAの安定稼働だ。

銀行・金融取引業務には書類の審査をはじめ多数のワークフローがあり、多くが人の手と目に頼ってきた。しかしMUFGグループでは、AWS移行と並行して2014年ごろからRPAに着目し、業務の自動化・効率化を進めてきた。

問題はRPAの安定稼働をどう実現するかだった。「サーバで稼働する基幹システムとは異なり、RPAは情報システム側ではなく、エンドユーザーが開発し、ファット端末上で動いています。リソース不足や障害が起きて、ユーザーから『どうなっているんだ』と聞かれても、状況の把握が難しい状態でした」（勝野氏）。さらに、RPAが業務に果たす役割が拡大するにつれ、外部監査において監視と安定稼働の担保が求められるようになった。

ただ、新規サービスや直接顧客の利益につながるシステムとは異なり、RPAの監視への大きな投資は難しい。そこで「スモールスタートできることを念頭に置いていろいろな製品を調査し、Zabbixを選択しました」（勝野氏）。一連のRPAはWindowsやLinuxに加え、OracleやSQL Serverといったさまざまなプラットフォームで動作していたが、Zabbixが対応するプラットフォームの幅広さ、そして杉浦氏も触れた、関連情報やドキュメントの多さも安心材料となった。

こうして現在、約450台に上るファット端末とその上で動作するRPAの稼働状況を全体的に俯瞰する仕組みを、プラットフォームの監視システムとは別系統としてZabbixで構築し、運用している。管理インターフェイスに手を加え、情報システム側だけでなく、RPAを利用するユーザーがアプリケーションライクに利用して「今、どうなっているのか」を直接確認できる仕組みも整えた。

MUFGでのRPA活用シーンは引き続き拡大しており、気付けば10台、20台と増えていることも珍しくはない。そんな「シャドーRPA」についても、Ansibleを組み合わせて自動的にディスカバリし、監視設定を投入する仕組みを整備し、「ロボットが正常に動作しているか」「負荷集中によるリソース不足が発生していないか」といった事柄を監視できている。一定期間使わなくなったと判断できるRPAについては自動的に監視設定を消去する仕組みも整備した。

一度仕組みを作ると、現場からはさまざまな追加要望が上がってくるようになった。「今ログインしているユーザーを知りたい」「インストールされているExcelやPowerpointのバージョンに変更がないかを監視したい」などニーズはさまざまだが、そこに柔軟に対応できるのもZabbixの良さだと感じている。「監視の開発も、自分たちで出来る範囲から始め、要望を汲み取りながらアジャイルライクに進めています」（勝野氏）

店舗を結ぶネットワーク監視にもZabbixを採用し、コスト削減を実現

基盤プラットフォームやRPAの監視に加え、全国各地の店舗などにあるATMの監視の一部にも採用するなど、MUFGグループのITシステムにおけるZabbixの活用場面はますます拡大している。最近では、営業店や無人店、海外拠点やデータセンターを結ぶネットワークの監視基盤もZabbixに移行したばかりだ。IPアドレスでいうと11万4000件を超える大規模な閉域網だが、その監視を商用製品からZabbixに乗り換えることで、数千万円単位でランニングコストを削減できることが大きな決め手になったという。

商用製品にも利点は多いが、やはりベンダーロックインという足かせは大きい。その帰結として、MUITの業務が企画やプロジェクト管理に偏り、実際に手を動かしてものを作る人間が少なくなるという課題も生じていた。しかしAWSへの移行、OSSであるZabbixの採用、そしてシステム開発・運用の内製化という一連の取り組みを通して、徐々に変化が始まっている。MUITではこれからも、ランニングコストを最適化しながら、変化し続ける市場に合わせた柔軟なIT基盤やシステム、アプリケーション作りに取り組み、次世代の金融サービスを支えていく。



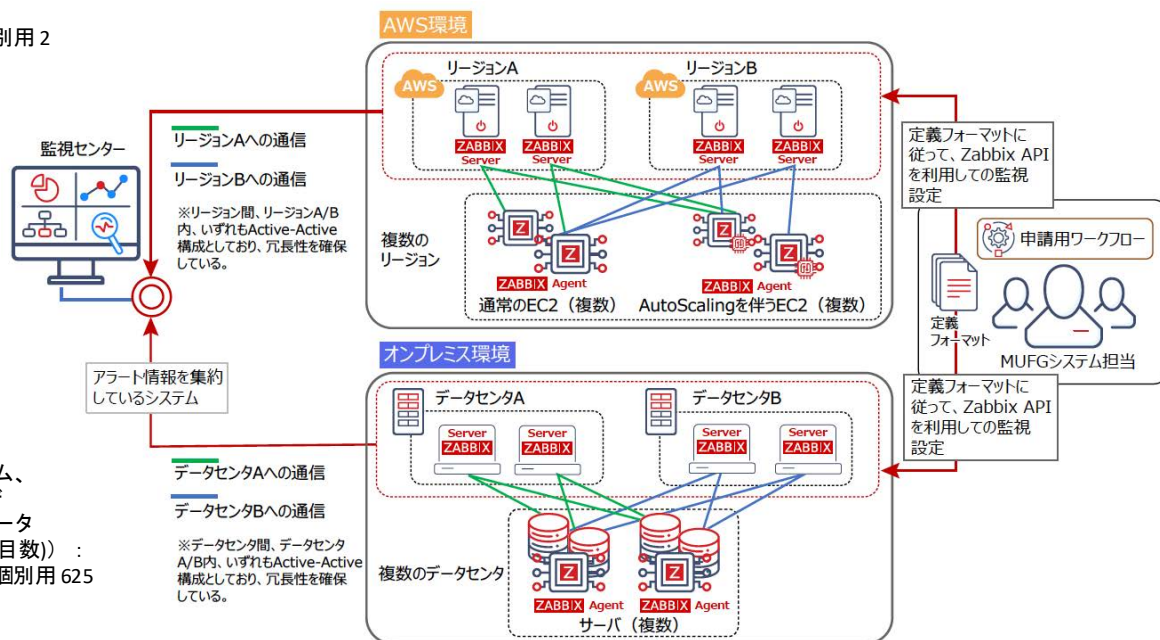
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社
業務基盤本部
業務基盤第四部
シニアプロフェッショナル
勝野 基央氏



三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社
グループ共通基盤本部
ITコントロールサービス部
プロフェッショナル
杉浦 和真氏

システム概要

Zabbixサーバーの数：
運用監視用8、ゲスト個別用2
冗長化構成の有無：有り
(Active-Active構成、
Active-Standby構成)
監視拠点数：
運用監視用4、
ゲスト個別用2
監視対象数：
運用監視用約1,200、
ゲスト個別用約1,100
トリガー数：
運用監視用約270,000、
ゲスト個別用約210,000
アイテム数：
運用監視用約55,000、
ゲスト個別用約82,000
ユーザー数：
運用監視用約120システム、
ゲスト個別用約55ユーザー
Zabbixのパフォーマンスデータ
(NVPS(1秒あたりの監視項目数))：
運用監視用500、ゲスト個別用625



三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社概要

本社：東京都中野区
設立：昭和63年6月
従業員数：約2,015名（2022年4月1日現在）
資本金：181百万円（三菱UFJ銀行85.5%、
MUFG14.5%）

三菱UFJインフォメーションテクノロジーは、三菱UFJ銀行をはじめとする三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下MUFG）各社の金融サービスをITで支える『金融×ITプロフェッショナル』です。三菱UFJ銀行のシステム開発を担う銀行事業部門、その他MUFG各社のシステム、銀行を含めたシステムインフラやITサービスを担当するグループ事業部門、銀行の基幹システムパッケージを地銀へ提供するChance事業部門、本社部門の4つの領域で重要な社会インフラである金融システムを、先進的な技術と高いセキュリティで、安心・安定・安全に提供しています。

導入事例

事例紹介ではお客様、パートナー、ユーザーのZabbix導入事例をご紹介します。Zabbixがさまざまな規模、産業の企業、組織にもたらす利点、価値をご覧ください。

※ 記載内容は取材時点のものであり、会社名、団体名、製品名等が現在と異なる場合があります。

すべての導入事例は
こちらから



ホームページにはさらに豊富な事例を全文掲載しています

https://www.zabbix.com/jp/case_studies

自治体

パートナー

株式会社HARP 様

クラウド

株式会社 HARP



「かゆいところは確実に修正」が長期利用のポイント

クラウド時代を先取りし、自治体向けにサービスを提供するHARP社。コスト削減、幅広いOS、ネットワーク機器の監視、変化し続ける顧客ニーズ、監視対象、リソースの拡張に対応できる監視ソリューションを探していた中、Zabbixを選んだ経緯と満足した結果を得られたことについてお話を伺いました。

全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバーの数：2台
Zabbixプロキシの数：10台
冗長化構成の有無：有り（Active - Active構成）
監視拠点数：1拠点
監視対象数：1,000台
トリガー数：7,000

アイテム数：30,000
ユーザー数：90
Zabbixがインストールされているハードウェアの情報：
仮想マシン（CPU4コア、メモリ16GB、ディスク3.5TB）
Zabbixのパフォーマンスデータ
（NVPS：1秒あたりの監視項目数）：240

自治体

導入企業・団体

宮崎県庁 様

クラウド



仮想基盤上のシステムを「まんべんなく、低コストで」監視

仮想化やクラウドサービスのトレンドは、自治体のシステムにも及んでいます。その先陣を切ったのが宮崎県。さまざまなシステムを運用し、その数は年々増加し多額の費用がかかってきました。そこで注目したのが仮想化によるサーバー統合。宮崎県が求める要件を満たし、コスト削減につながる理由によりZabbixを選定したことについてQTNet様よりお話を伺いました。

全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバー数：1台
（将来、バックアップサイトに1台追加予定）
冗長化：あり（仮想サーバーにおけるHA構成）
監視対象機器数：2014年末現在「130」
将来的に「1000以上（想定）」
トリガー数：2014年末現在「450」
将来的に「4000以上（想定）」

アイテム数：2014年末現在「580」
将来的に「5000以上（想定）」
Zabbixサーバーのスペック
（VZMwareESX仮想サーバー上にHA構成で導入）
1vCPU 2.7GHz メモリ 8.0GB
HDD：1.0TB（250GB使用）
OS：RHEL6（64bit）（2014年12月現在）

学校・教育

導入企業・団体

福岡大学 様

マルチベンダー

福岡大学



西日本有数の大規模学内システムの安定稼働を支えるZabbix

福岡大学に快適なネットワーク環境を提供し、教育や研究活動のインフラとしての役割を果たしているのが教育研究システム「FUTURE5」。導入・運用コストが低く抑えられかつマルチベンダーの多種多様な機器とサービスレベルを確実に監視できるZabbixを選んだ経緯についてお話を伺いました。

全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバーの数：1台
監視拠点数：1拠点
監視対象数：1,176台
トリガー数：約8,609
アイテム数：約43,333
ユーザー数：約15人

Zabbixがインストールされているハードウェアの情報
CPU：8core
メモリ：48GB
HDD：1TB
Zabbixのパフォーマンスデータ
（NVPS：1秒あたりの監視項目数）：15,226



大幅なコスト削減と業務の自動化・効率化をZabbixで実現

NTTコミュニケーションズの多岐にわたるサービスの中には、顧客システムの保守・運用などのサポートも含まれる。こうしたサポート業務では、自動化によるコスト削減が求められる。できるだけ人手を介さない運用を目指し、自動化を進めるにあたりZabbixを選んだ経緯について伺いました。

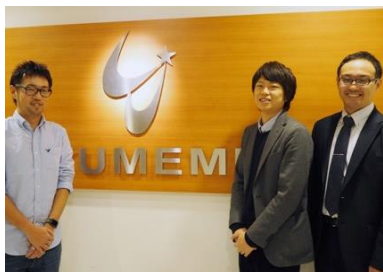
全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバーの数：2台
Zabbixプロキシの数：2台
冗長化構成の有無：有り（Active - Active構成）
監視拠点数：1,000拠点
監視対象数：40,000台

トリガー数：41,000
アイテム数：130,000
ユーザー数：75
Zabbixのパフォーマンスデータ
（NVPS(1秒あたりの監視項目数)）：426



クラウドの備える柔軟性に自動的に対応できる監視をZabbixで実現

モバイルにおけるリーディングカンパニーとしてデジタルマーケティング支援、WEBサービスの制作/開発を行っているゆめみ社。リソース状況の監視と可視化を一つのサービスで賄いたい、ホスト自動登録をしたい、AWSのフルマネージドなサービスを楽に監視したいという要求をZabbixの導入およびZabbix認定パートナーTIS作成のAWS監視テンプレートの導入で解決しました。

全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバーの数：1台
Zabbixプロキシの数：3台
（2017年3月2日現在）
監視対象数：約30台（2017年3月2日現在）
徐々に置き換え予定
トリガー数：1ホストあたり30
アイテム数：1ホストあたり60~100
ユーザー数：20（2017年3月2日現在）

Zabbixのパフォーマンスデータ
（NVPS：1秒あたりの監視項目数）：30.29
（2017年3月2日現在）
Zabbixがインストールされているハードウェアの情報：
AWS EC2（Amazon Linux,
WindowsServer2008R2, 2012R2）等
オンプレミス（CentOS6, 7, WindowsServer2008R2,
2012R2）等



身に付けたナレッジをベースに、顧客向け構築支援サービスも展開

効率的かつ安全で質の高い、幅広いサービス・ソリューションを提供しているワイイーシーソリューションズ。有料監視ソフトウェアを導入し監視を行ってきた同社にとり、有料監視ソフトウェアのライセンス数増加にともなうコスト増大の問題が発生してきました。解決策としてOSSのZabbixを導入した経緯についてお話を伺いました。

全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバーの数：1台
監視拠点数：1拠点
監視対象数：2017年1月現在80台
（将来予定）約1,000台
アイテム数：約60,000以上（将来予定）

Zabbixがインストールされているハードウェアの情報
CPU：6core メモリ：64GB HDD：3.5TB
Zabbixのパフォーマンスデータ
（NVPS：1秒あたりの監視項目数）：38.2
（2017年1月現在）



最適化に向け挑戦し続けるネクソンのインフラを見守るZabbix

オンラインゲームを世界各国で配信するネクソン社。Zabbixを採用した理由の、オープンソースソフトウェアゆえにライセンス価格を低く抑えられるというコスト面の要因に加え、物理と仮想にまたがり幅広い環境を統合的に監視できるといふZabbixの利点についてお話を伺いました。

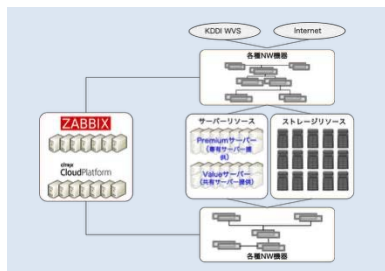
全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバーの数：1台
監視拠点数：2拠点
監視対象数：約1,000台
トリガー数：約10,000
アイテム数：約20,000
ユーザー数：約30人

Zabbixがインストールされているハードウェアの情報
Server：HP DL380 Gen8 x1台
CPU：Xeon E5-2660 2.20GHz (8core) x 2CPU
メモリ：32GB HDD：300GB x 25本
Zabbixのパフォーマンスデータ
（NVPS：1秒あたりの監視項目数）：74.51



99.9999%の稼働率を支える運用監視の環境整備

「Quality Cloud」を掲げ、Citrix CloudPlatformをベースに高品質なクラウドサービス「KDDIクラウドプラットフォームサービス」を企業向けに提供しているKDDI社。そのキャリアグレードの品質を支えているのは、Zabbixを活用したゆみない運用監視によるものです。Zabbixを活用し、早期発見・早期復旧を実現している同社にそのポイントを伺いました。

全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバー数：約40台
マルチテナント監視：あり
トリガー数：約800,000
CPUコア数：4～16コア(用途により異なる)
メモリ：16GB～128GB(用途により異なる)

Zabbixがインストールされているハードウェア：
仮想マシンおよび物理サーバー
冗長化：あり（Active-Active構成）
監視対象機器数：約20,000台
アイテム数：約400,000



求められる「スピード感」をAPI連携による自動化で実現

ChefとZabbixとをAPI経由で連携させることにより、サーバー構築に連動してZabbixエージェントをインストールし、さらにサーバーの種類に応じて必要な設定を流し込む仕組みを整えました。導入から運用についてお話を伺いました。

全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバー数：約30台 冗長化：あり
マルチテナント監視：あり。オンプレミスおよびAWS
監視対象機器数：
Zabbixサーバー1台あたり平均20～30台、
最大でZabbixサーバー1台あたり200～250台

トリガー数：
Zabbixサーバー1台あたり平均3,000、
最大でZabbixサーバー1台あたり20,000
アイテム数：
Zabbixサーバー1台あたり平均5,000、
最大でZabbixサーバー1台あたり60,000



「開発サービス」で仮想化環境監視機能を実現

国産クラウドサービス「ニフティクラウド」を提供するニフティ社。「何でもできる」点を評価しZabbixを利用していましたが、仮想マシンを直接監視できないかと考えていました。Zabbix「**開発サービス**」で実現できた仮想化環境監視機能の導入と運用についてお話を伺いました。

全文はこちらから



システム概要

マルチテナント監視：各拠点にZabbixサーバーを置き複数拠点の監視を実施
Zabbixがインストールされているハードウェア：VMware上の仮想マシン
Zabbixのパフォーマンスデータ（NVPS：1秒あたりの監視項目数）：全環境合計4,000程度
（最大の環境で1,200程度、今後5倍程度に増加する予定）

※**開発サービス**：元々Zabbixに含まれていない機能を、個別の要望に応じて開発し、Zabbix本体に取り込むサービスです。その内容は微調整から大規模なカスタムプロジェクトに至るまでさまざまであり、個々の環境に合わせた「特定機能の開発」と、他のユーザーとともに「一般的な機能の開発」のスポンサーとなるという2通りの方法があります。「仮想化環境の監視機能」は後者の形で、ニフティからの支援を受けて開発され、Zabbix 2.2で正式にサポートされました。（P11参照）



高品質なデータセンターサービス運用をより低コストで実現

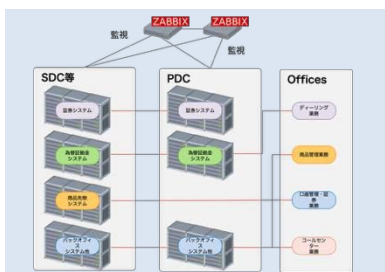
商用監視ソフトウェアを利用していましたが、データセンターサービスを長年提供していると監視対象が増え、商用監視ソフトウェアでは、監視ノード数に比例してライセンス数が増加するため、ランニングコストの上昇が課題になってきました。ソフトウェア本体は無償で利用できるZabbixを導入しコスト削減への期待についてお話を伺いました。

全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバー数：2台
冗長化：あり
監視対象機器数：約1,000台



異なるアーキテクチャにまたがる一元監視をZabbixで実現

インターネット専門証券会社の草分け的存在である楽天証券はブロードバンドが広く普及する前からサービスを提供してきました。「とにかくサービスを止めない」ことを目標に掲げています。マルチアーキテクチャ、マルチプラットフォーム対応していることを理由にZabbixを採用に至ったポイントについてお話を伺いました。

全文はこちらから



システム概要

Zabbixサーバー数：2台
冗長化：あり
監視対象機器数：1,382台

トリガー数：5,328
アイテム数：57,311

Webセミナーに参加しませんか

Zabbixでは、Zabbix監視ソリューションに関する無料のWebセミナーを開催しています。Webセミナーでは、Zabbix監視ソリューションの機能、選ばれる理由、動作環境、最新版Zabbixの新機能、Zabbix社によって提供されているサービス、日本国内のパートナーについてご紹介します。

Webセミナーはどなたでもご参加頂くことが可能ですが、Zabbix監視ソリューションの使用経験が必要となる内容も一部含まれる可能性があります。



<https://www.zabbix.com/jp/webinars>



PDFカタログは
こちら



03-4405-7338



sales@zabbix.co.jp



twitter.com/zabbix_jp



facebook.com/zabbixjapan

Zabbix Japan LLC

〒105-0021
東京都港区東新橋2-16-3 カーザベルソーレ8階
www.zabbix.com/jp

ZABBIX